

令和4年度

「UIJ ターン就職促進に係る企業、高校、大学等実態調査業務」

業務報告書

概要版

令和5年3月

浜松市産業部産業振興課

浜松市 UIJ ターン就職促進に係る企業、高校、大学等実態調査報告書 概要版

目次

全体概要	1
I. 浜松市内高校	2
1. 実態調査概要	2
2. 実態調査結果	2
II. 静岡県内大学・浜松市内専門学校等	4
1. 実態調査概要	4
2. 実態調査結果	4
III. 静岡県外大学	8
1. 実態調査概要	8
2. 実態調査結果	8
IV. 浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生	12
1. 実態調査概要	12
2. 実態調査結果	14
V. 浜松市内企業就職者並びに UIJ ターン就職経験者	19
1. 実態調査概要	19
2. 実態調査結果	21
VI. 浜松市外企業への就職者	23
1. 実態調査概要	23
2. 実態調査結果	24
VII. 浜松市内企業	26
1. 実態調査概要	26
2. 実態調査結果	28

■全体概要

本報告書は、浜松市への UIJ ターン就職の促進による若者の転入増加と、地元企業を担う人材及び労働力を確保するため、浜松市内企業並びに高校、進学先となる主な大学等、就職者を対象として行った調査結果に関する報告である。以下7つの調査を実施した。

1. 浜松市内高校実態調査
2. 静岡県内大学、浜松市内専門学校等実態調査（アンケート・ヒアリング）
3. 静岡県外大学実態調査（アンケート・ヒアリング）
4. 浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生の意識・実態調査（アンケート）
5. 浜松市内企業就職者並びに UIJ ターン就職経験者の意識・実態調査（Web アンケート）
6. 浜松市外企業への就職者の意識・実態調査（Web アンケート）
7. 浜松市内企業実態調査（アンケート・ヒアリング）

（調査機関）

株式会社 東京商工リサーチ浜松支店

（本報告書における用語の定義）

本報告書における用語の定義は、以下の通りとする。

- ・「浜松市内企業」 浜松市に事業所のある企業（本社・支社店・営業所・工場等問わず）
- ・「静岡県内大学」 法人本部が静岡県内にある大学
- ・「静岡県外大学」 法人本部が静岡県外にある大学
- ・「従業員規模」 正規社員及び非正規社員を合算した社員規模
- ・「首都圏」 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県
- ・「中京圏」 愛知県・岐阜県・三重県
- ・「関西圏」 大阪府・京都府・兵庫県

（本報告書における調査対象について）

「浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生の意識・実態調査」（アンケート）については、「大学生」のみを対象、それ以外の調査に関しては、「大学・短大・専門学校」を対象とした。

（概要版について）

本調査におけるすべての調査結果や考察、各ヒアリング内容、今後の UIJ ターン就職促進策の提案などは完全版に掲載しており、本概要版については、主な調査結果を簡潔に報告することを目的としている。

I 浜松市内高校実態調査

1. 実態調査概要

(1) 調査目的

本調査は、UIJ ターン就職の促進による若者の転入増加と、地元企業を担う人材及び労働力を確保するため浜松市内高校から基礎的データを収集し、今後の事業施策に活用する事を目的に実施した。

(2) 調査対象

浜松市内の公立高校 17 校・私立高校 10 校、全 27 校

(3) 調査方法

令和 4 年 7 月 27 日～8 月 30 日、郵送による配布、郵送及び Web 回答により調査を実施。

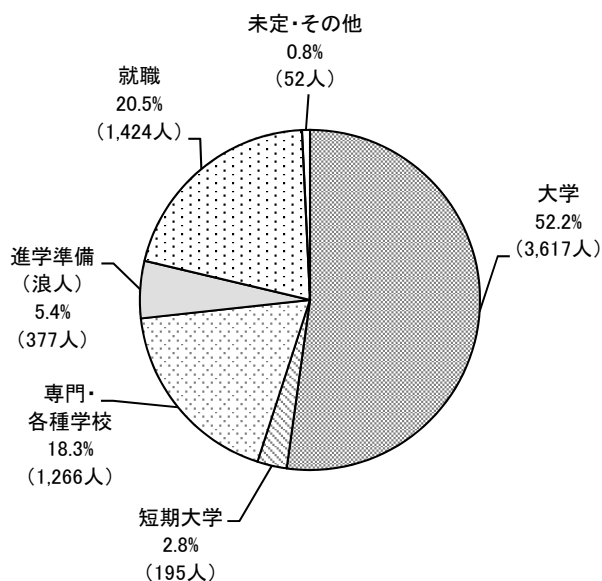
(4) 回収状況

郵送数 27 校、回収数 27 校。回収率 100.0%。

2. 実態調査結果

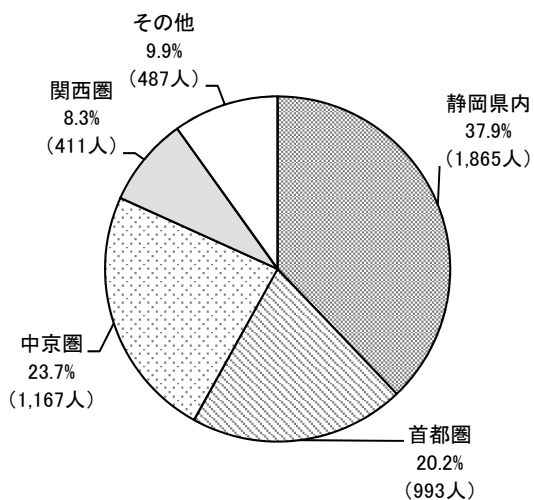
- 浜松市内高校の令和 3 年度卒業生 6,931 人のうち 73.3%が進学、20.5%が就職している。進路別をみると、「大学」(52.2%)、「短大」(2.8%)、「専門・各種学校」(18.3%)となる。進学先を地域別でみると「静岡県内」(37.9%)、「首都圏」(20.2%)、「中京圏」(23.7%)、「関西圏」(8.3%)となる。

図表 1 進路別の割合 (全体)



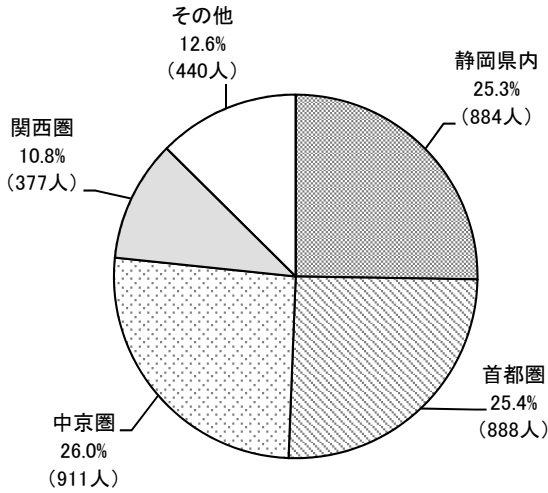
(全体数 6,931 人)

図表 2 進学先の地域別の割合 (全体)



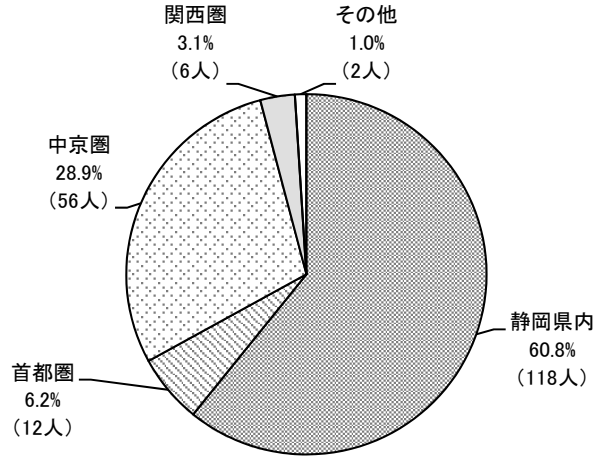
(全体数 5,078 人のうち有効数 : 4,923 人)

図表3「大学」へ進学した地域別の割合・人数



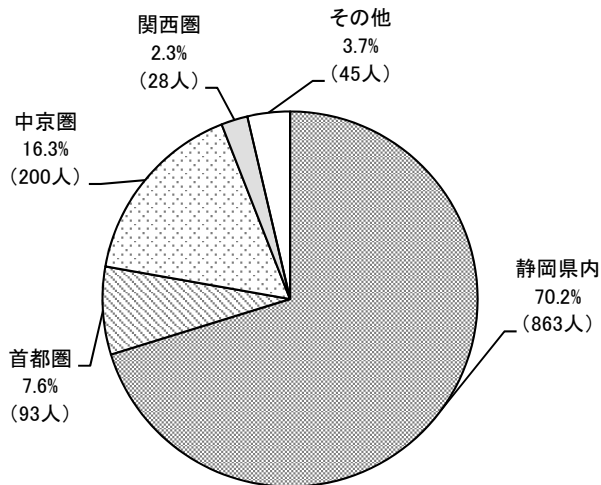
(全体数 3,617 人のうち有効数 : 3,500 人)

図表4「短期大学」へ進学した地域別の割合・人数



(全体数 195 人のうち有効数 : 194 人)

図表5「専門学校」へ進学した地域別の割合・人数



(全体数 1,266 人のうち有効数 : 1,229 人)

図表3～5は、各高校に、進学した人数が多い上位10校の回答を求め、その結果を集計した。

II 静岡県内大学・浜松市内専門学校等

1. 実態調査概要

(1) 調査目的

本調査は、地元就職の促進と地元企業を担う人材及び労働力を確保するため、静岡県内の大学及び浜松市内の専門学校等から基礎的データを収集し、今後の事業施策に活用することを目的に実施した。

(2) 調査対象

静岡県内にキャンパスを置く大学・短期大学（高等専門学校 1 校を含む）21 校と浜松市内専門学校 23 校の全 44 校。

(3) 調査方法

令和 4 年 9 月 13 日～令和 4 年 10 月 12 日、郵送による配布、郵送及び web 回答により調査を実施。

(4) 回収状況

郵送数 44 校、回収数 44 校。回収率 100%。

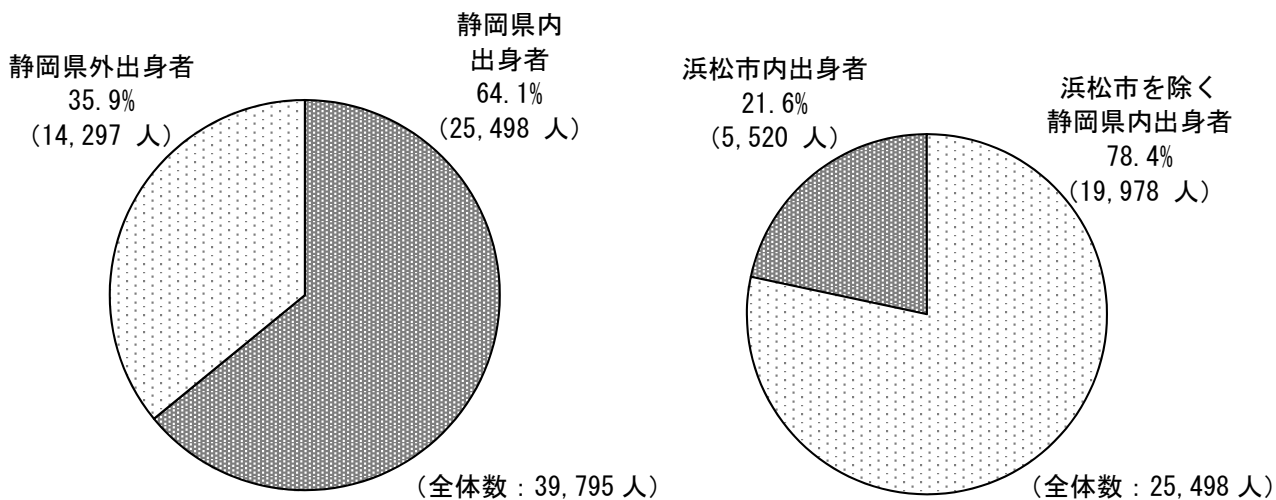
(5) 属性

大学 21 校（短期大学・高等専門学校を含む）、専門学校 23 校

2. 実態調査結果

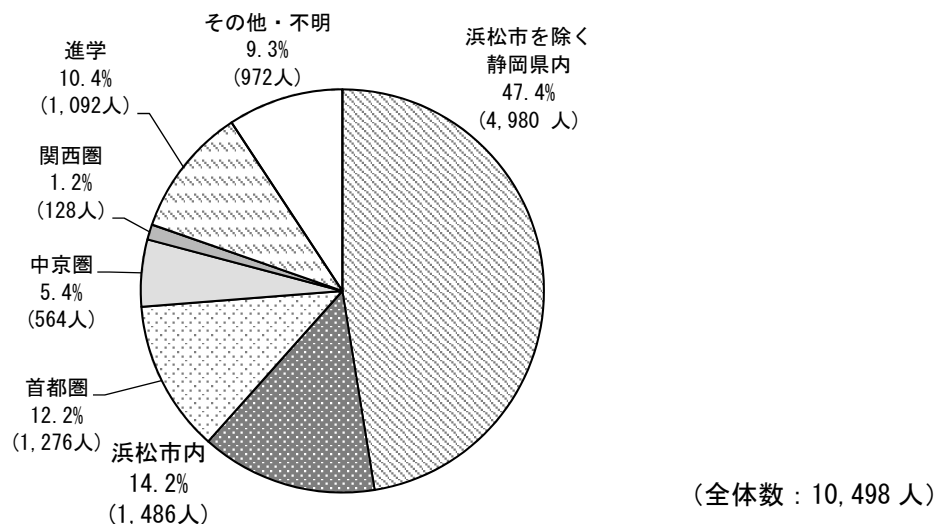
- 本調査における静岡県内大学等の令和 4 年度の在校生 39,795 人のうち 64.1%が「静岡県内出身者」であり、そのうち 78.4%が「浜松市を除く静岡県内出身者」、21.6%が「浜松市内出身者」である。

図表 6 在校生の県内、浜松市内出身者の状況



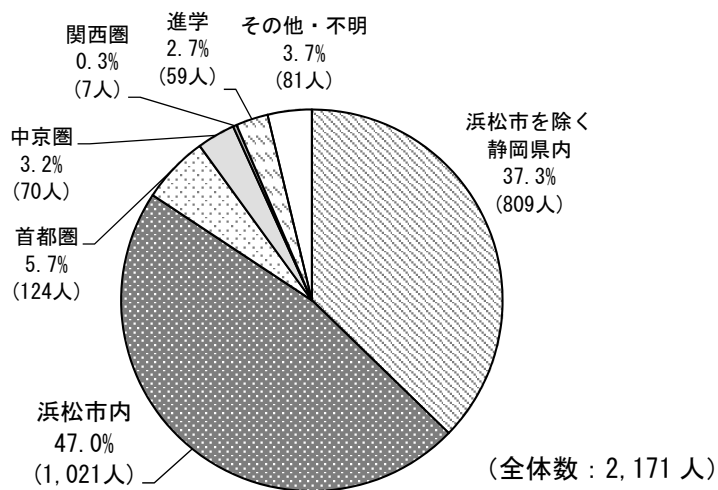
●令和3年度の卒業生の就職先地域は「静岡県内」が61.6%となっており、うち14.2%は「浜松市内」に就職している。

図表7 卒業生の就職先の地域別内訳



●令和3年度に就職した「浜松市内」出身者の47.0%が「浜松市内」に就職している。

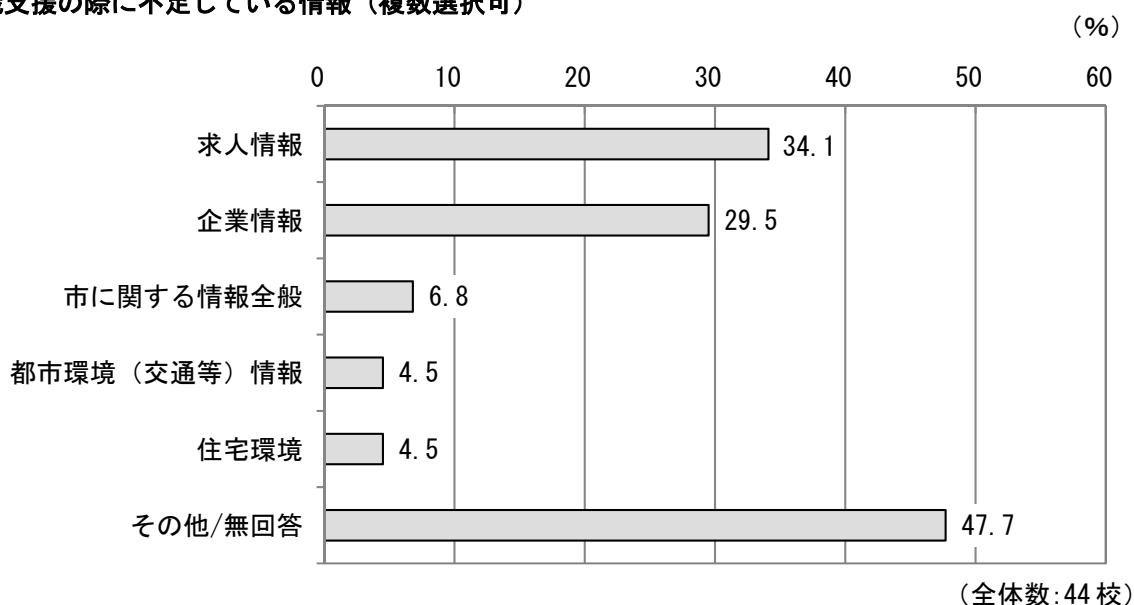
図表8 浜松市出身者の就職先の地域別内訳



II 静岡県内大学・浜松市内専門学校等

●浜松市内への就職を勧める場合、不足している情報としては、「求人情報」(34.1%)と「企業情報」(29.5%)が、多く挙げられた。

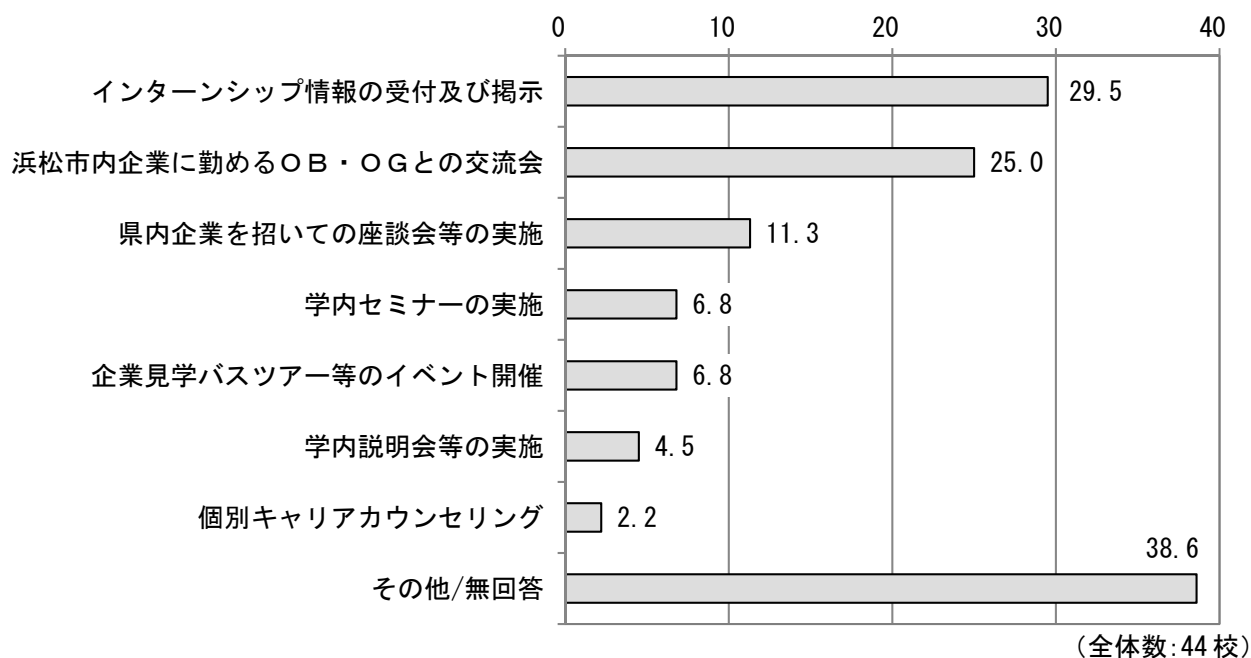
図表 9 就職支援の際に不足している情報（複数選択可）



●学生の就職支援にあたり、地方自治体と連携して取り組んでいきたい事業は、「インターンシップ情報の受付及び掲示」(29.5%)と「浜松市内企業に勤めるOB・OGとの交流会」(25.0%)が多く挙げられた。

(%)

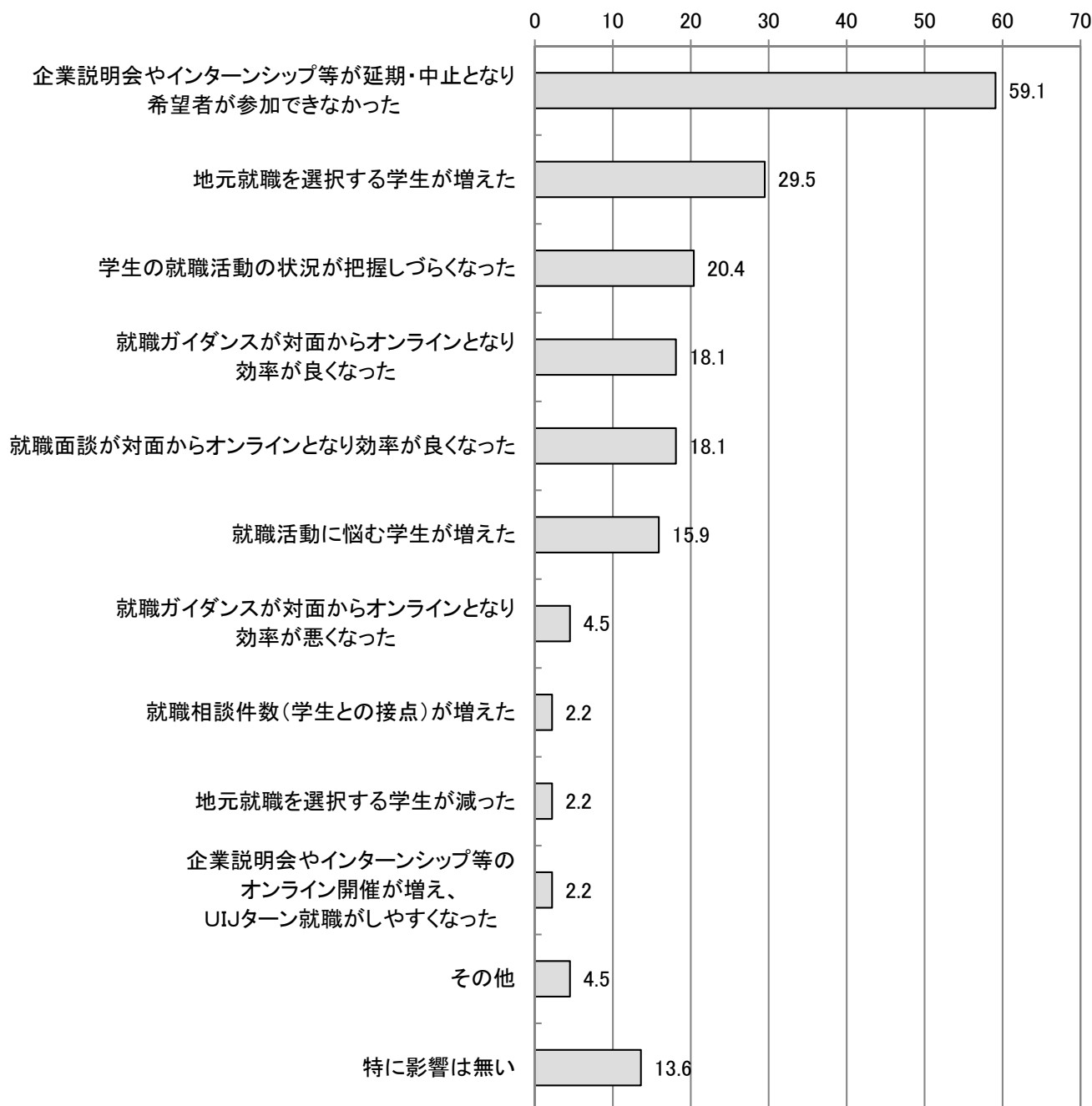
図表 10 地方自治体と連携して取り組んでいきたい事業（複数選択可）



●新型コロナウイルス感染症が、令和3年度中の各校の就職支援に与えた影響としては、「企業説明やインターンシップ等が延期・中止となり希望者が参加できなかった」(59.1%)が最も多く、学生の就職活動に大きな影響があったと考えられる。次いで「地元就職を選択する学生が増えた」(29.5%)、「学生の就職活動の状況が把握しづらくなった」(20.4%)と続く。

図表11 新型コロナウイルス感染症による影響（複数選択可）

(%)



(全体数:44校)

Ⅲ 静岡県外大学

1. 実態調査概要

(1) 調査目的

UIJ ターン就職の促進による若者の転入増加と、地元企業を担う人材及び労働力を確保するために県外大学から基礎データを収集し、今後の事業施策に活用することを目的とする。

(2) 調査対象

「UIJ ターン就職に関わる浜松市内高校実態調査」の結果から、卒業生の進学者数の上位校 62 校を選定した。

(3) 調査方法

令和 4 年 9 月 13 日～10 月 12 日、郵送による配布、郵送及び web 回答により調査を実施。

(4) 回収状況

郵送数 62 大学、回収数 62 大学。回収率 100%。

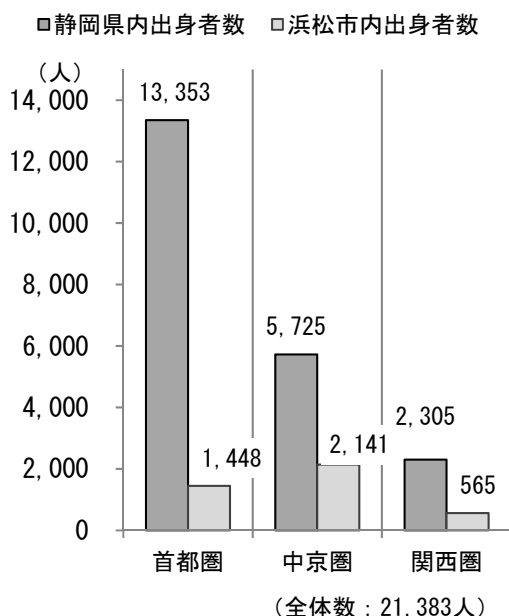
(5) 属性

首都圏にある大学 30 大学 中京圏にある大学 21 大学 関西圏にある大学 11 大学

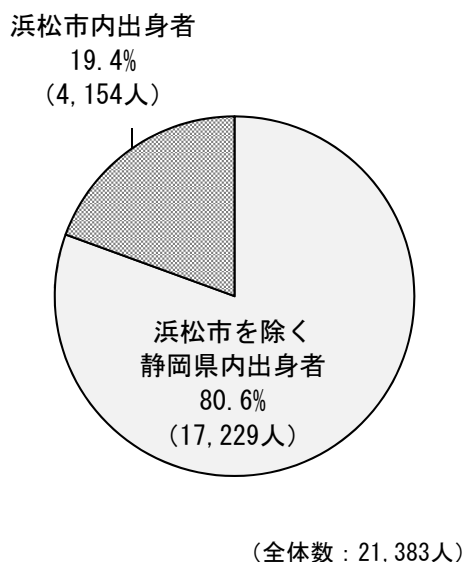
2. 実態調査結果

●本調査における、1 年生から 4 年生の在校生の 749,386 人のうち、「静岡県内出身者」は 21,383 人 (2.9%) である。「静岡県内出身者」のうち、「浜松市内出身者」は 4,154 人 (19.4%) となる。

図表 1 2 大学地域別の静岡県内、
浜松市内出身者の在校生数

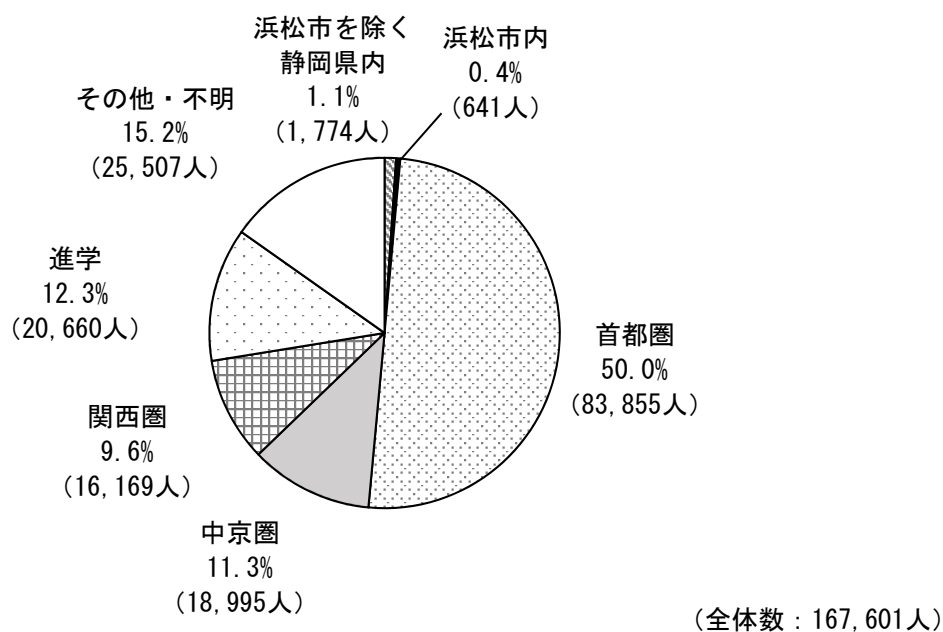


図表 1 3 静岡県内出身者のうち、
浜松市内出身者の割合



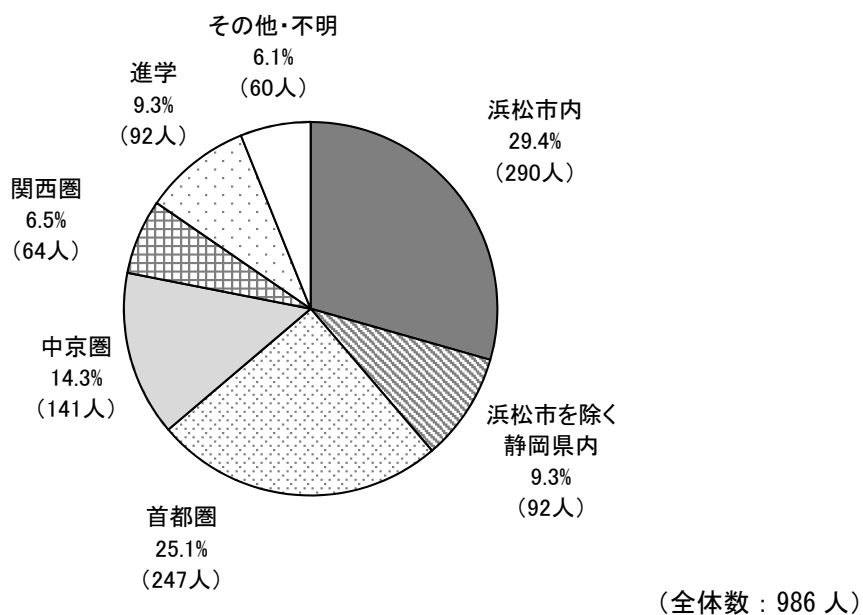
●令和3年度卒業生の就職先地域別内訳をみると、167,601人のうち、2,415人が「静岡県内」に就職（1.4%）している。

図表14 卒業生の就職先の地域別内訳



●令和3年度「浜松市内出身者」の就職先の地域をみると、29.4%が浜松市内に就職している。

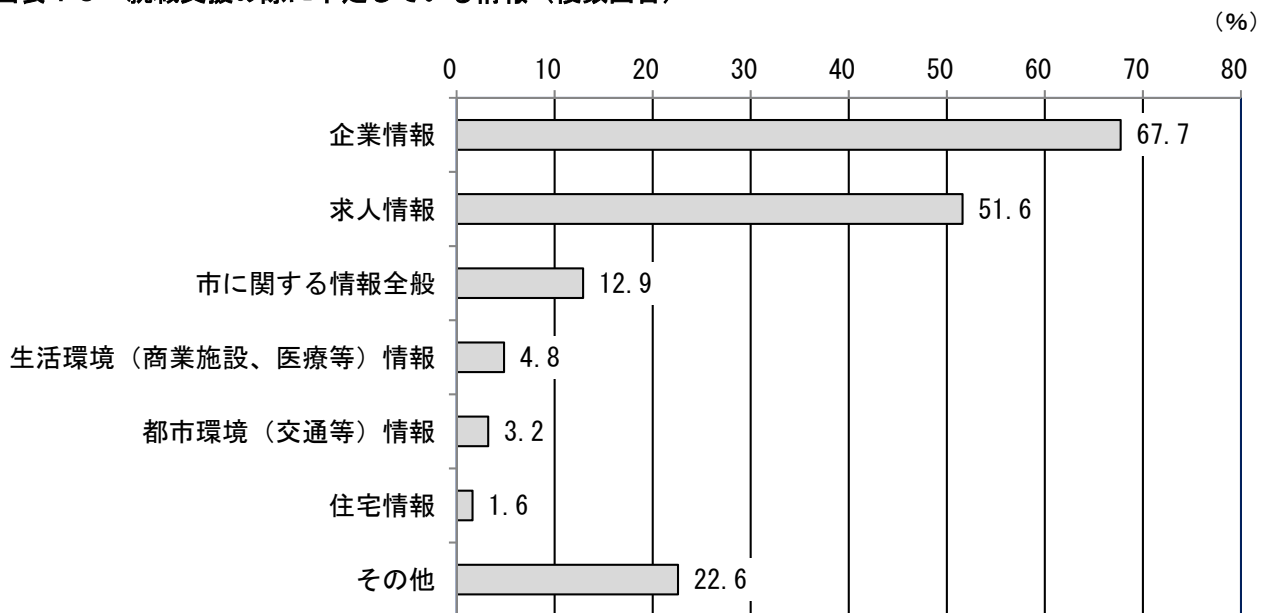
図表15 浜松市出身者の就職先の地域別内訳



Ⅲ 静岡県外大学

●浜松市へ就職を勧める場合、不足している情報としては、「企業情報」(67.7%)「求人情報」(51.6%)が上位を占めている。

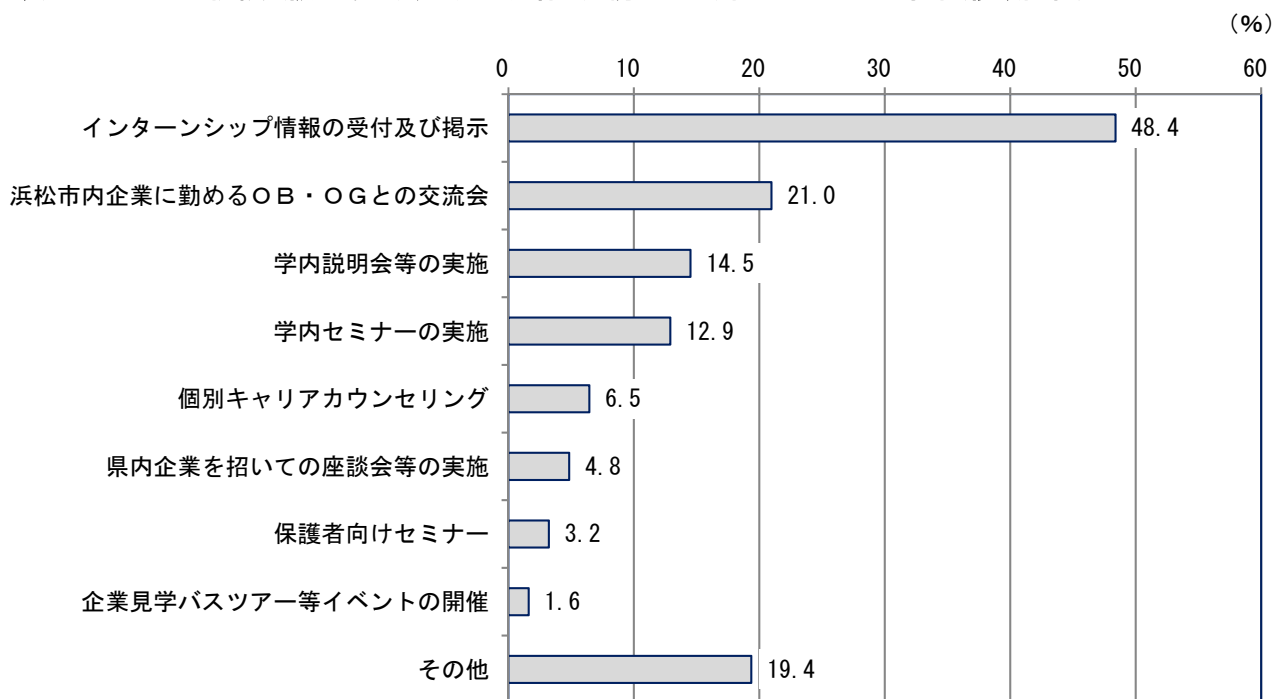
図表 16 就職支援の際に不足している情報(複数回答)



(全体数: 62校)

●学生への就職支援で地方自治体と連携して取り組んでいきたい事業としては、「インターンシップ情報の受付及び掲示」(48.4%)、「浜松市内企業に勤めるOB・OGとの交流会」(21.0%)、「学内説明会等の実施」(14.5%)の順となる。

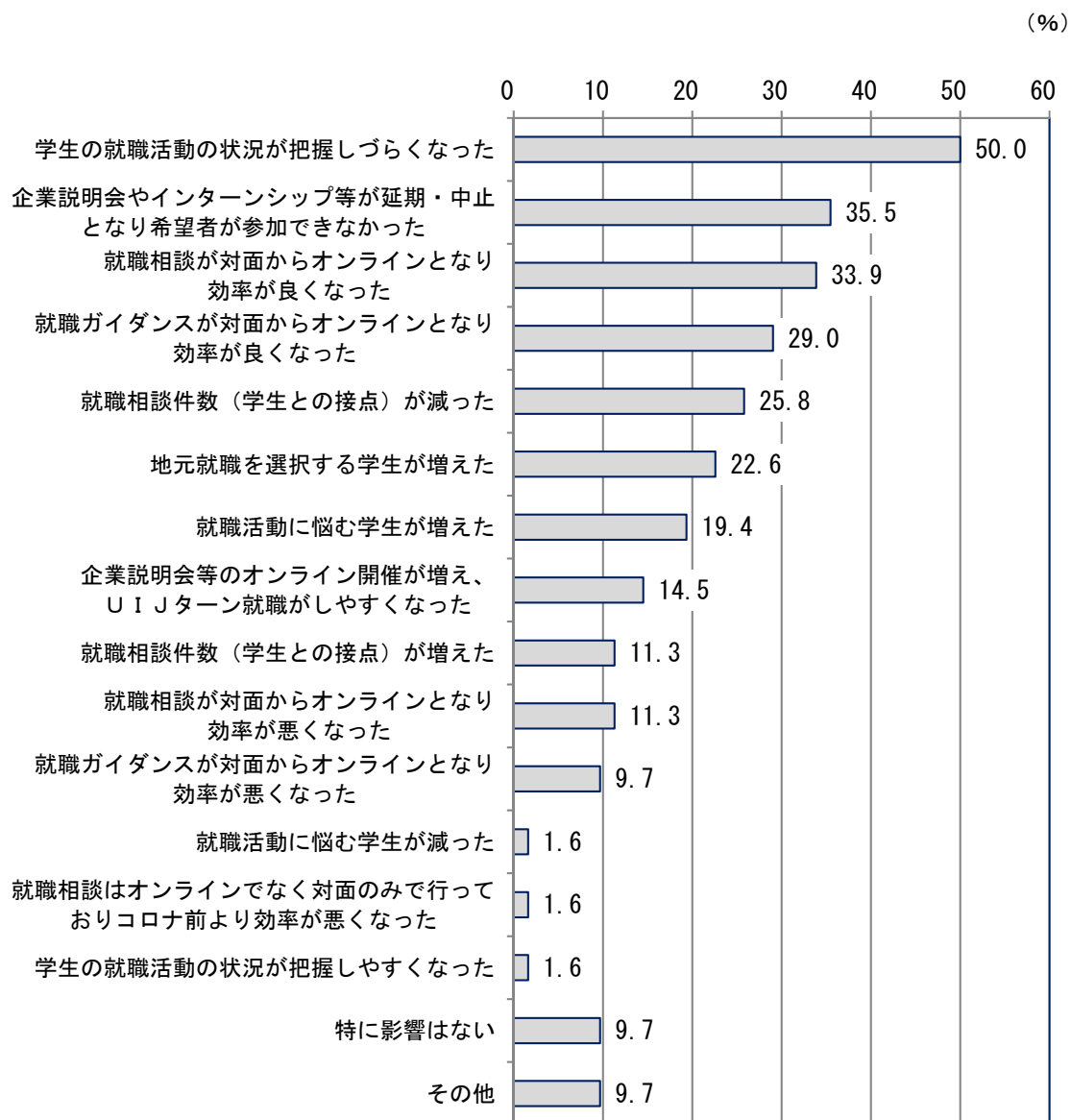
図表 17 学生への就職支援にあたり、地方自治体と連携して取り組んでいきたい事業(複数回答)



(全体数: 62校)

●新型コロナウイルス感染症が、令和3年度中の就職支援に与えた影響としては、「学生の就職活動の状況が把握しづらくなった」(50.0%)、「企業説明会やインターンシップ等が延期・中止となり希望者が参加できなかった」(35.5%)といった否定的な回答が多いなか、「就職相談が対面からオンラインとなり効率が良くなった」(33.9%)等のオンライン化が進んだことを肯定的にとらえる回答も多かった。

図表18 新型コロナウイルス感染症が、令和3年度中の就職支援に与えた影響（複数回答）



(全体数：62校)

IV 浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生の意識・実態調査

1. 実態調査概要

(1) 調査目的

本調査は、UIJ ターン就職の促進による若者の転入増加と、地元企業を担う人材及び労働力を確保するための基礎的データを浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生から収集し、今後の事業施策に活用することを目的として実施した。

(2) 調査対象

浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生

(3) 調査方法

令和4年9月9日～10月14日、就職関連メールマガジンでの告知によるインターネット調査及び就職イベントでの調査票配布によるアンケート調査

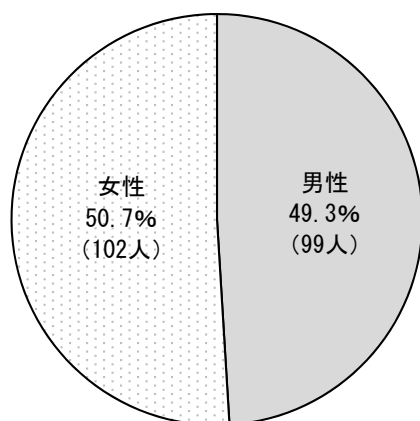
(4) 回収状況

回答総数 201 名（男性 99 名、女性 102 名）

(5) 属性

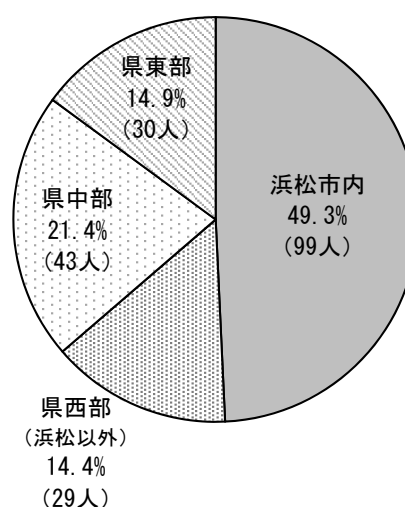
調査回収学生の属性は次のとおりである。

ア. 性別



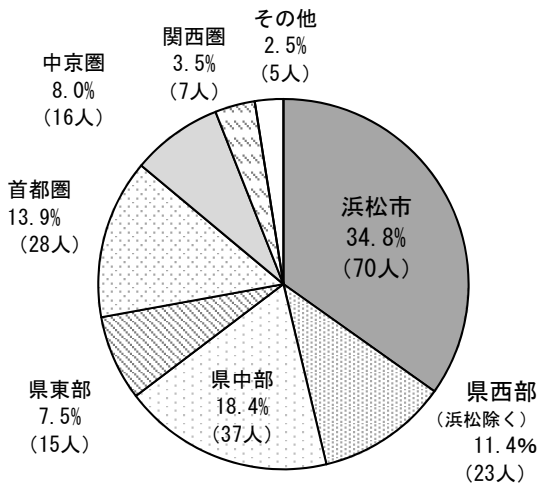
(全体数 : 201 人)

イ. 出身地



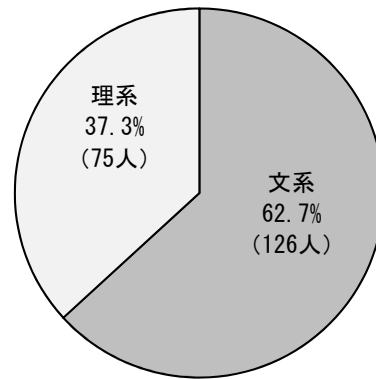
(全体数 : 201 人)

ウ. 居住地



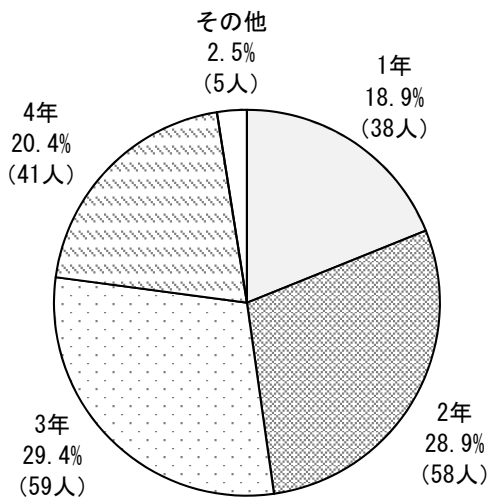
(全体数 : 201 人)

エ. 文系/理系



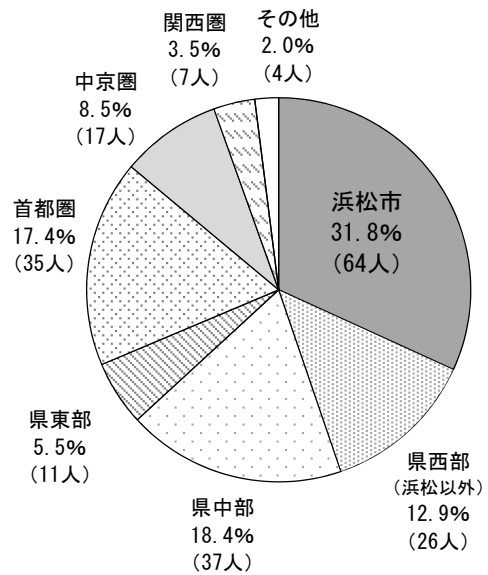
(全体数 : 201 人)

オ. 学年



(全体数 : 201 人)

カ. 学校所在地



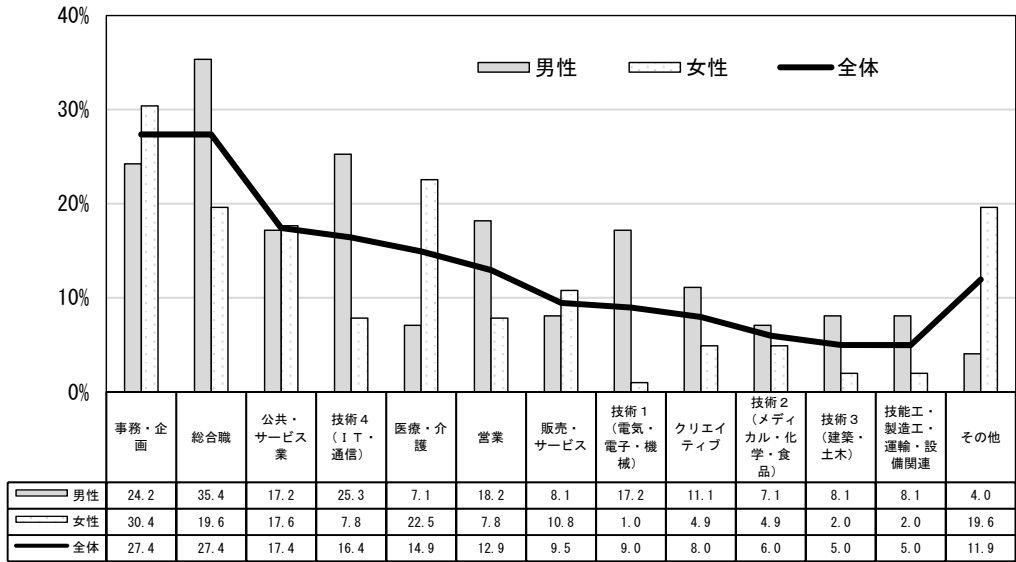
(全体数 : 201 人)

IV 浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生の意識・実態調査

2. 実態調査結果

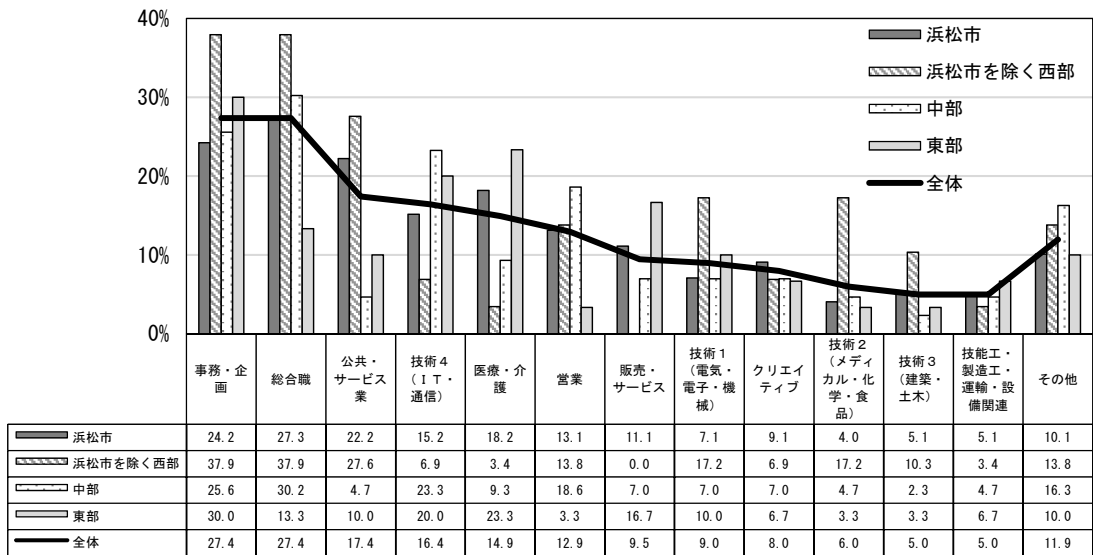
●希望職種について割合が最も高いのは、「事務・企画」と「総合職」(27.4%)である。次いで、「公共・サービス業」(17.4%)、「IT・通信」(16.4%)と続く。男性では「総合職」(35.4%)、女性では「事務・企画」(30.4%)、浜松市出身者では「総合職」(27.3%)の希望割合が最も高い。

図表 19 希望職種 (性別)



(全体数：201人、男性99人、女性102人)

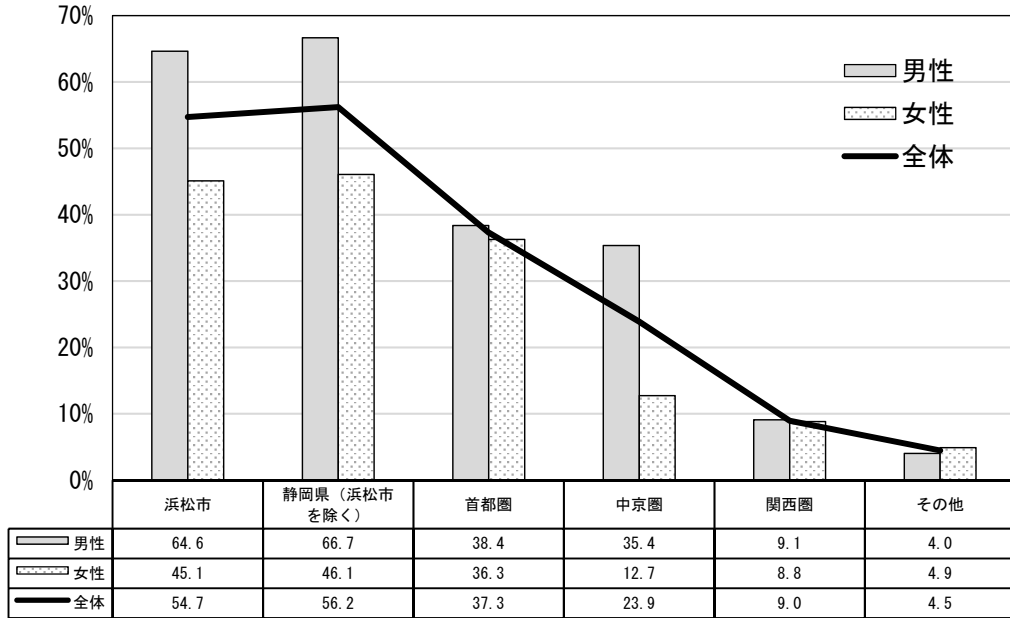
図表 20 希望職種 (出身地別)



(全体数：201人、浜松市99人、浜松市を除く県西部29人、県中部43人、県東部30人)

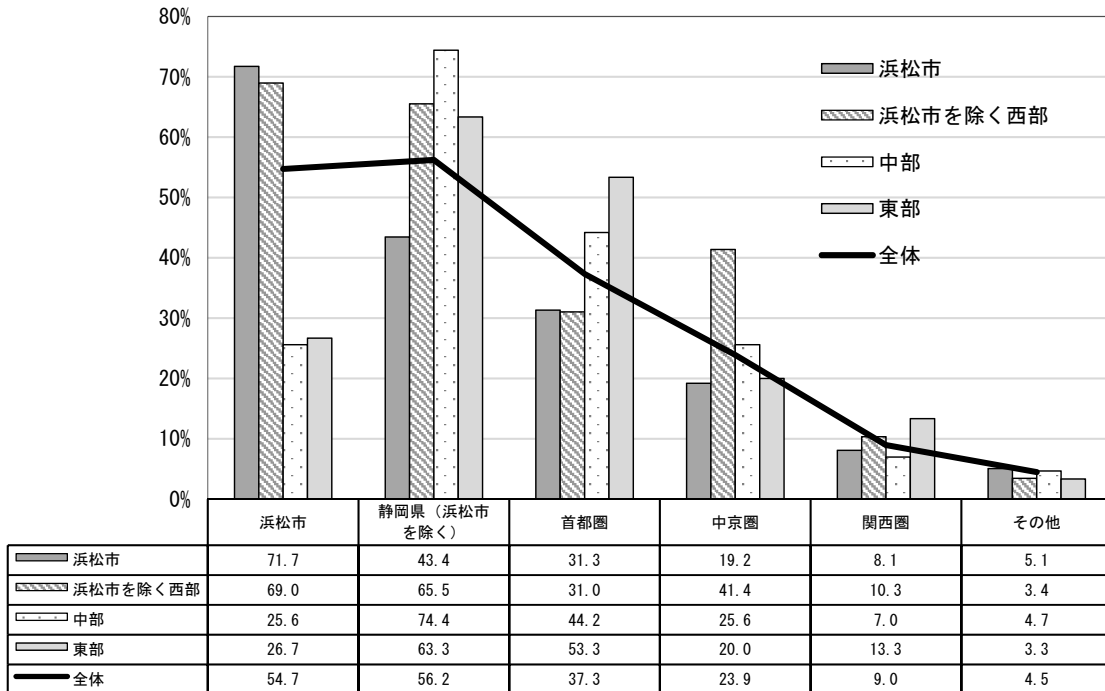
●就職を希望する地域は、静岡県(浜松市を除く)が56.2%と最も高く、次いで浜松市(54.7%)、首都圏(37.3%)と続く。ただし、出身地域別でみると、浜松市出身者の71.7%が浜松市での就職を希望しており、全体よりも高い数値が出ている。

図表 2 1 就職希望地 (性別)



(全体数 : 201 人、男性 99 人、女性 102 人)

図表 2 2 就職希望地 (出身地別)

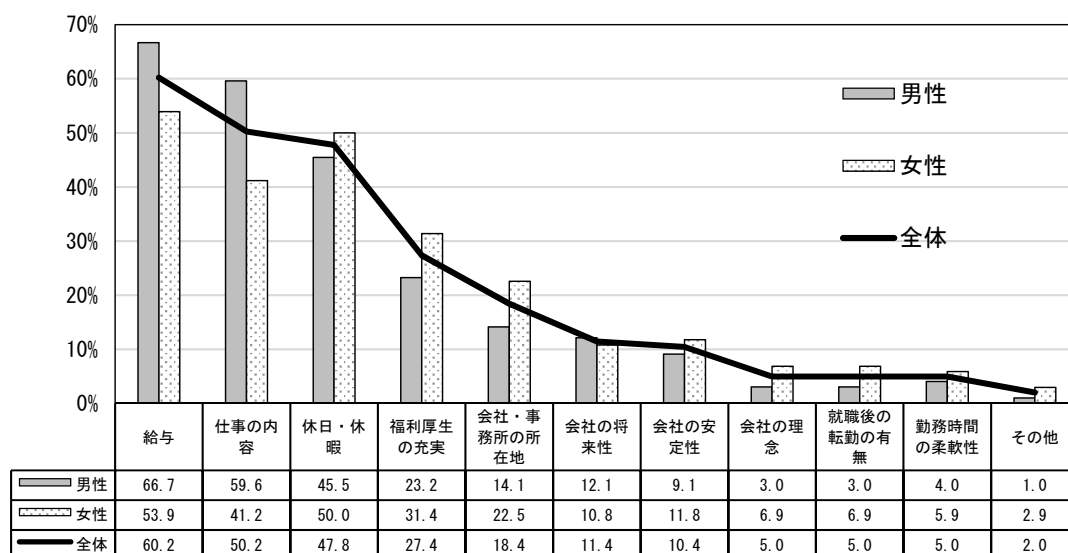


(全体数 : 201 人、浜松市 99 人、浜松市を除く県西部 29 人、県中部 43 人、県東部 30 人)

IV 浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生の意識・実態調査

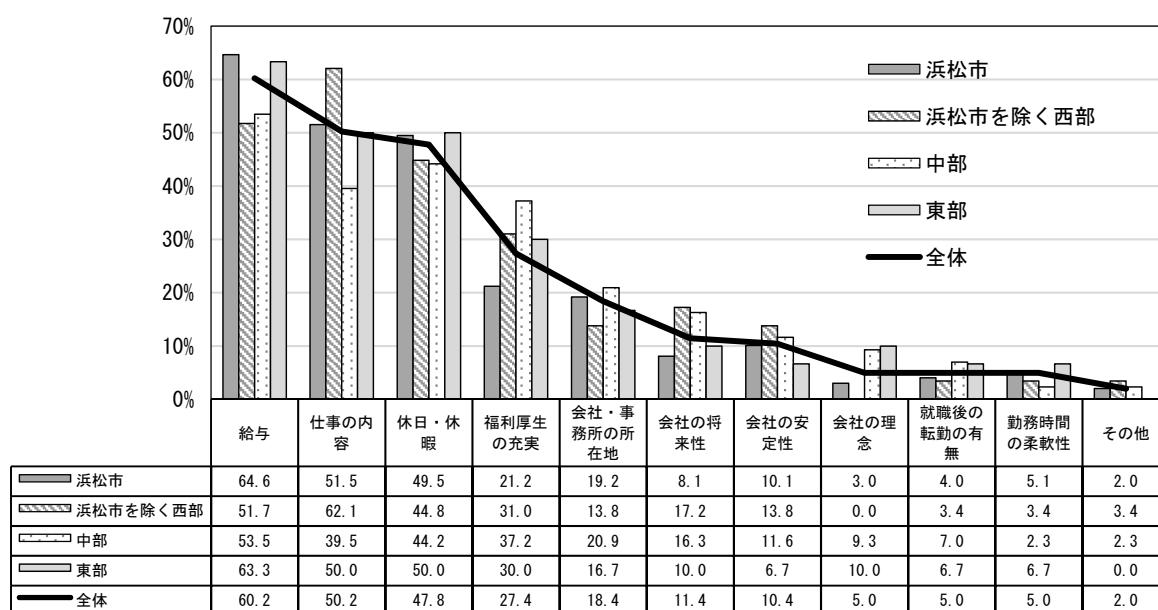
●就職先の重視点について最も割合が高いのは、「給与」(60.2%)である。次いで、「仕事の内容」(50.2%)、「休日・休暇」(47.8%)と続く。性別でも、男女共に「給与」の希望割合が最も高く、浜松市出身者も「給与」が最も高い結果となった。

図表 2 3 重視点 (性別)



(全体数 : 201 人、男性 99 人、女性 102 人)

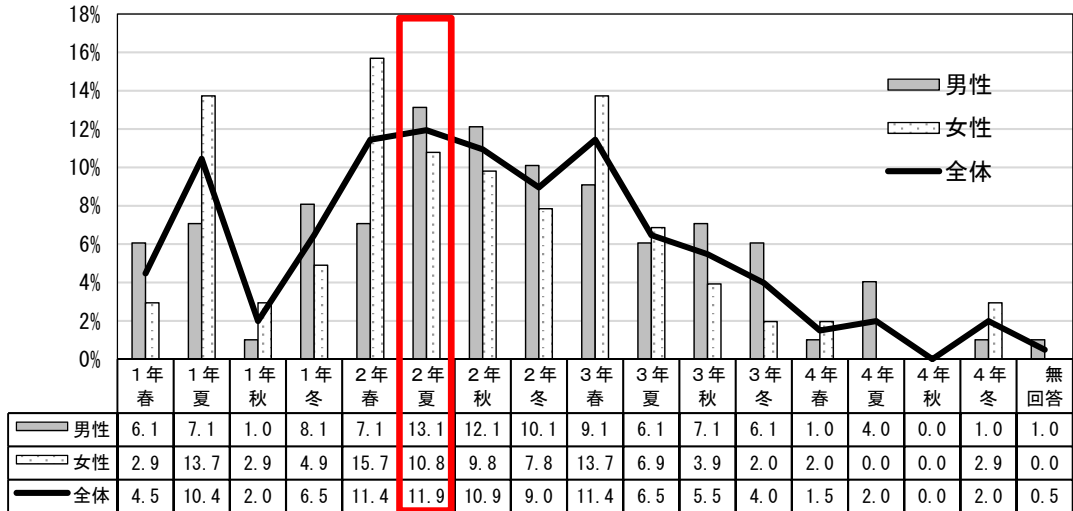
図表 2 4 重視点 (出身地別)



(全体数 : 201 人、浜松市 99 人、浜松市を除く県西部 29 人、県中部 43 人、県東部 30 人)

●就職活動を開始した時期で最も割合が高いのは、「2年夏」(11.9%)である。次いで、「2年春」と「3年春」(11.4%)が同率で続く。前回(平成27年度)の調査では3年冬(56.0%)が最も高かったことと比較すると、就職活動への取組の早期化が目立つ結果となった。

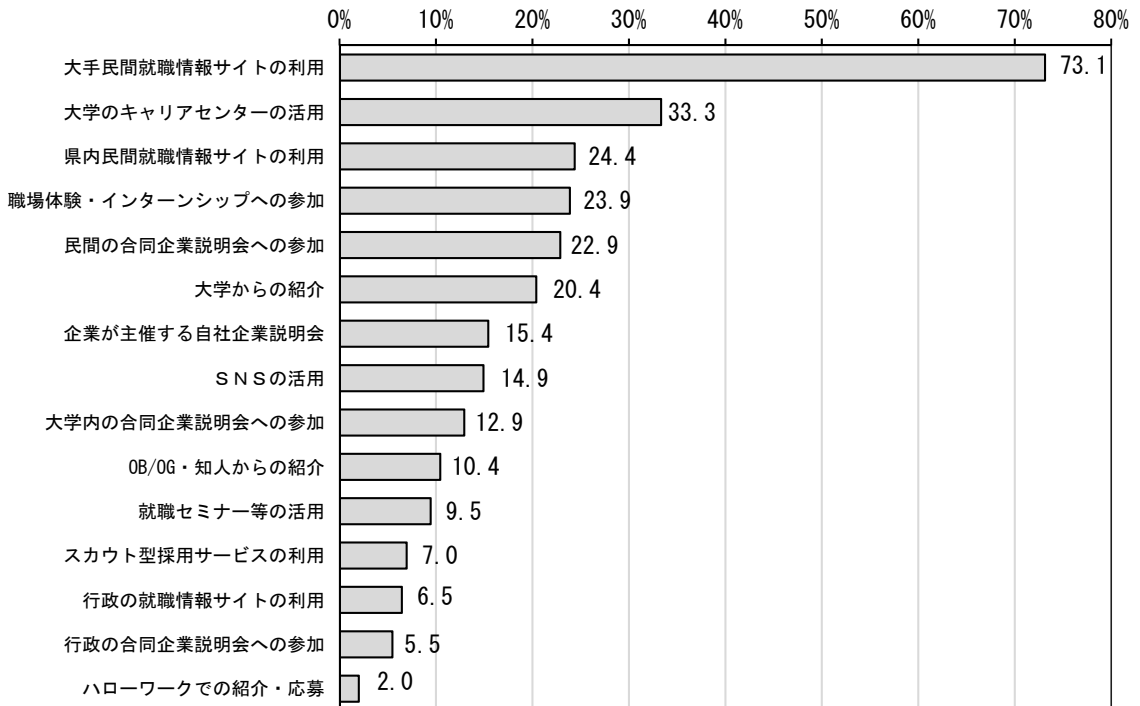
図表 2 5 就職活動開始時期



(全体数：201人)

●実施予定の就職活動は「大手民間就職情報サイトの利用」(73.1)が最も高い。

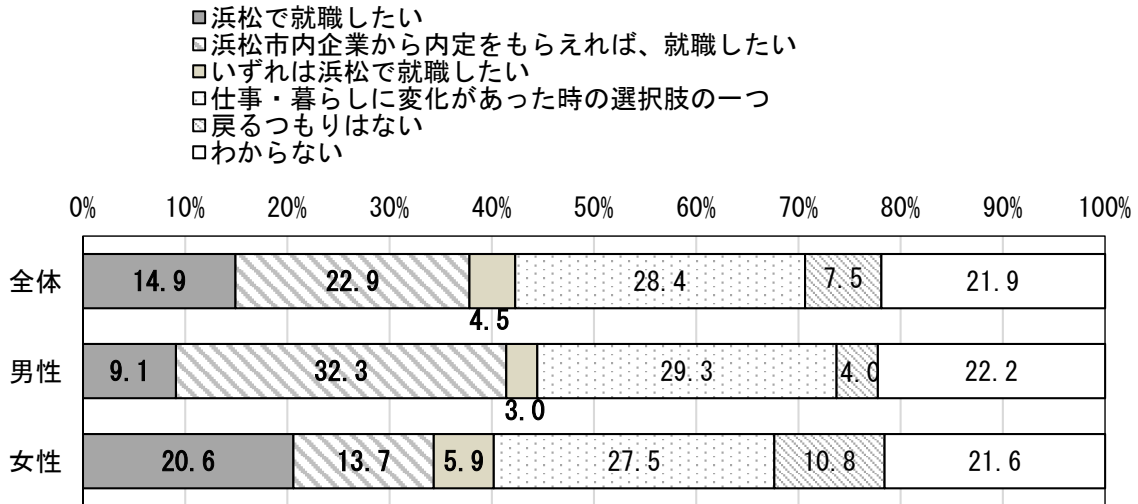
図表 2 6 学生の就職活動予定(複数回答可)



IV 浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生の意識・実態調査

●浜松市への UIJ ターン就職の意向について、「浜松で就職したい」(14.9%)と「内定がもらえたら就職したい」(22.9%)と「いずれは就職したい」(4.5%)を合わせた市内就職への前向きな回答の割合は42.3%となった。

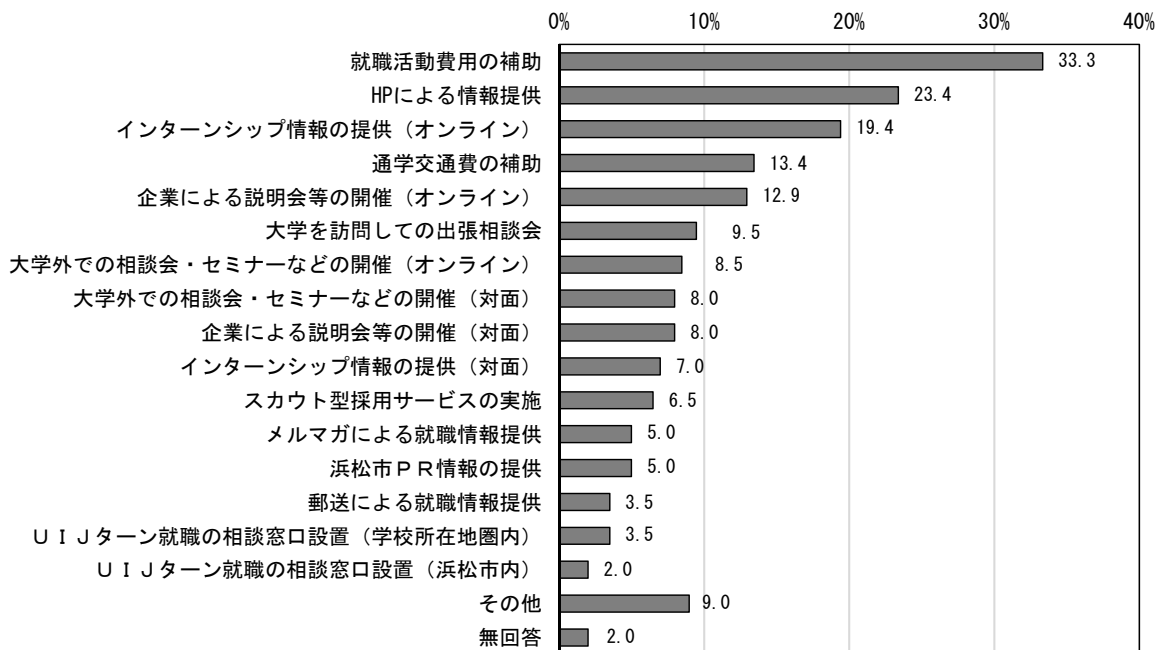
図表 27 UIJ ターン就職意向 (性別)



(全体数：201人、男性99人、女性102人)

●浜松市への UIJ ターン就職時に希望する支援・取組について、割合が最も高いのは「就職活動にかかる費用の補助」(33.3%)である。次いで、「ホームページによる浜松市内企業就職情報の提供」(23.4%)、「インターンシップ実施企業情報の提供(オンライン)」(19.4%)と続く。

図表 28 浜松市に希望する取組



(全体数 201人、男性 99人、女性 102人)

V 浜松市内企業就職者及びUIJターン就職経験者の意識・実態調査

1. 実態調査概要

(1) 調査目的

本調査はUIJターンの就職の促進による若者の転入増加と、地元企業を担う人材及び労働力を確保するための基礎的データを、浜松市内企業への就職者より収集し、今後の事業施策に活用することを目的に実施した。

(2) 調査対象

浜松市内の企業で勤務する者。並びに、浜松市内に本社を置く浜松市外の支店、営業所に勤務する者200名を抽出。

(3) 調査方法

令和4年12月7日～令和4年12月16日、インターネットリサーチ会社のWebモニターを利用したWebアンケート調査を実施。

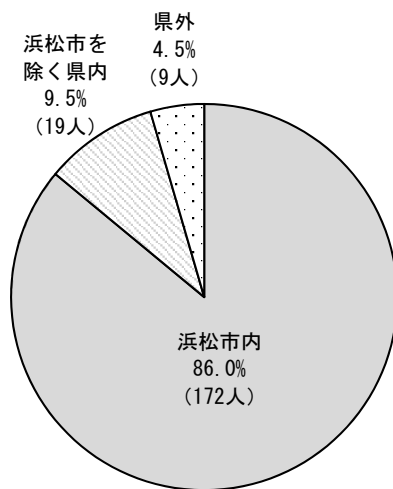
(4) 回収条件

全体200人、男性100人、女性100人

(5) 属性

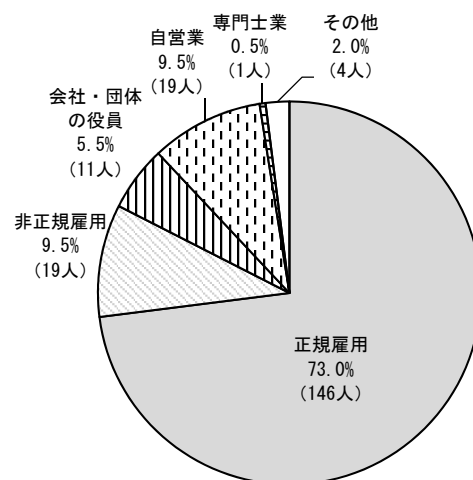
調査対象者の属性は以下の通りである。

ア. 浜松市内勤務者の出身地



(全体数：200人)

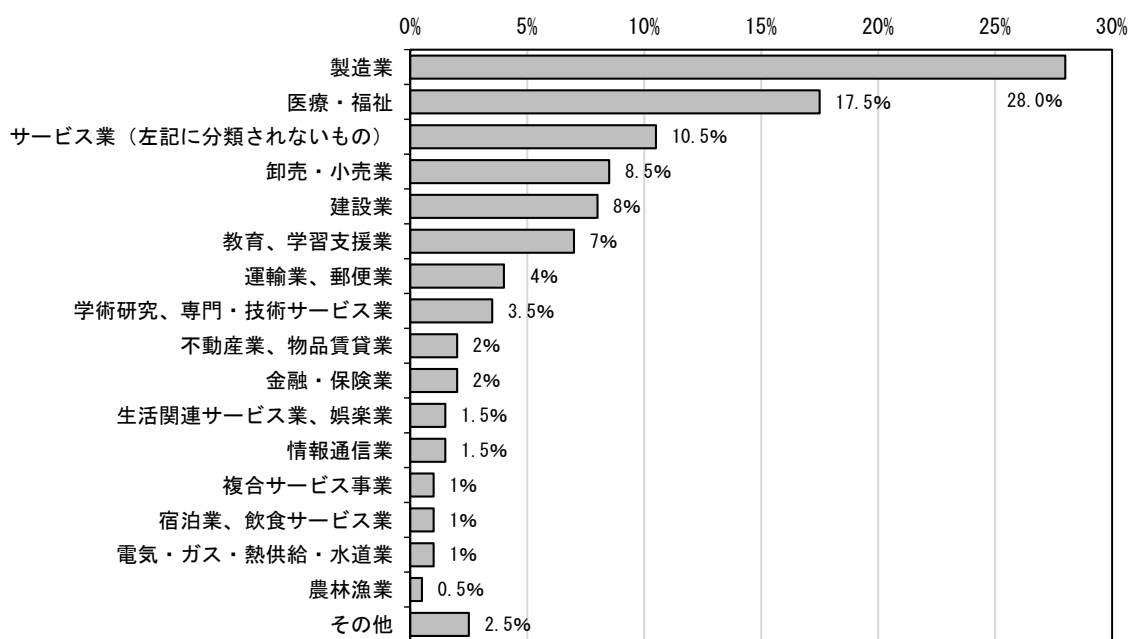
イ. 就業形態



(全体数200人)

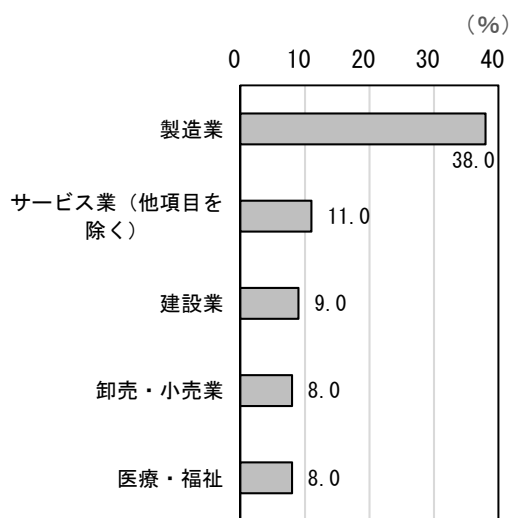
V 浜松市内企業就職者及びUIJターン就職経験者の意識・実態調査

図表 29 就職企業の業種比率



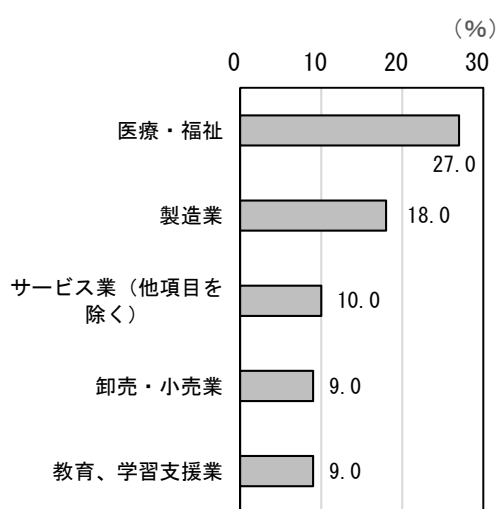
(全体数 : 200 人)

業種（男性・上位 5 種）



(全体数 : 100 人)

業種（女性・上位 5 種）

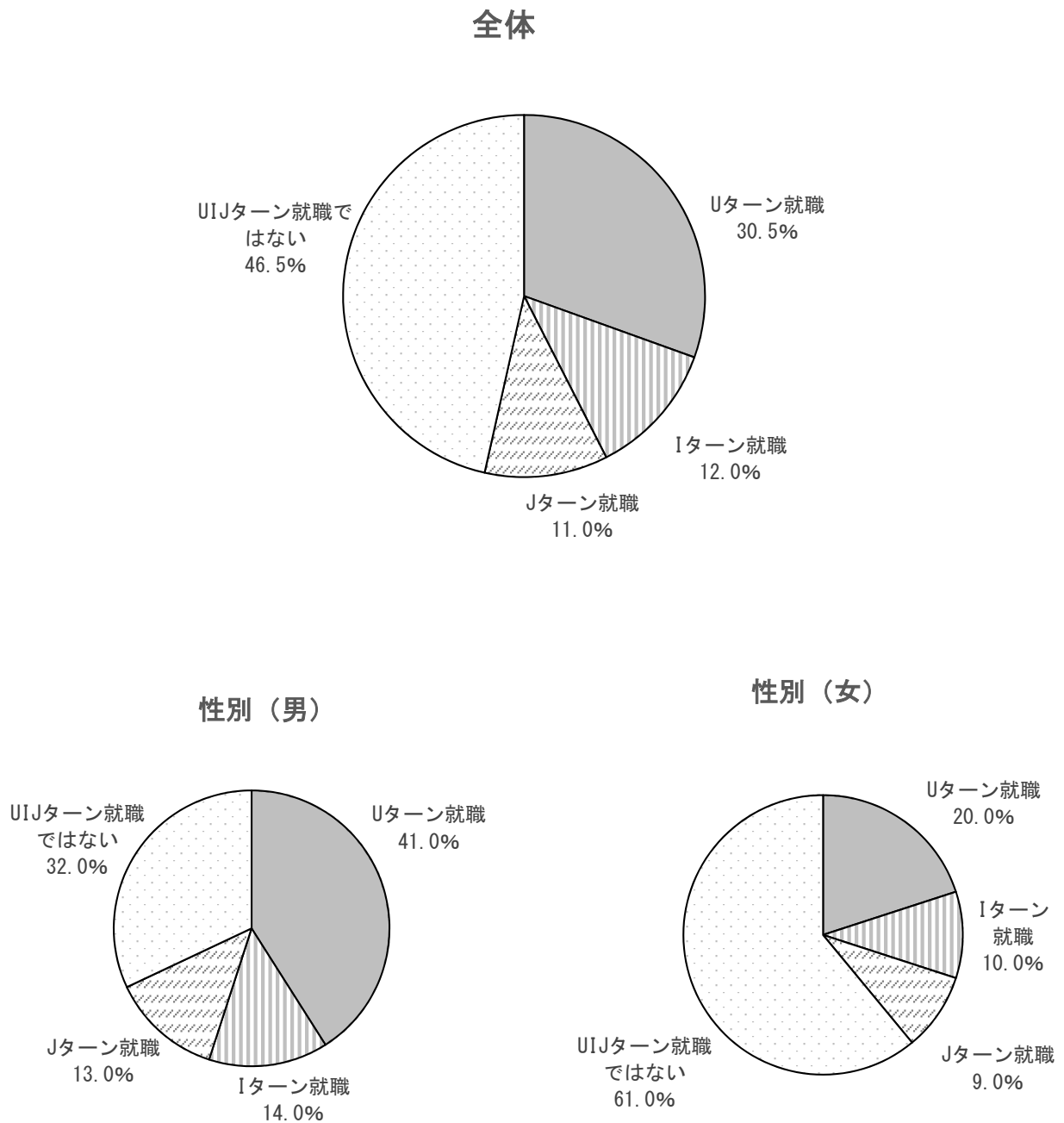


(全体数 : 100 人)

2. 実態調査結果

●浜松市内企業への就職者の内、UIJターン就職者の割合は53.5%（Uターン就職30.5%、Iターン就職12.0%、Jターン就職11.0%）と過半数を占めている。（107人/200人）

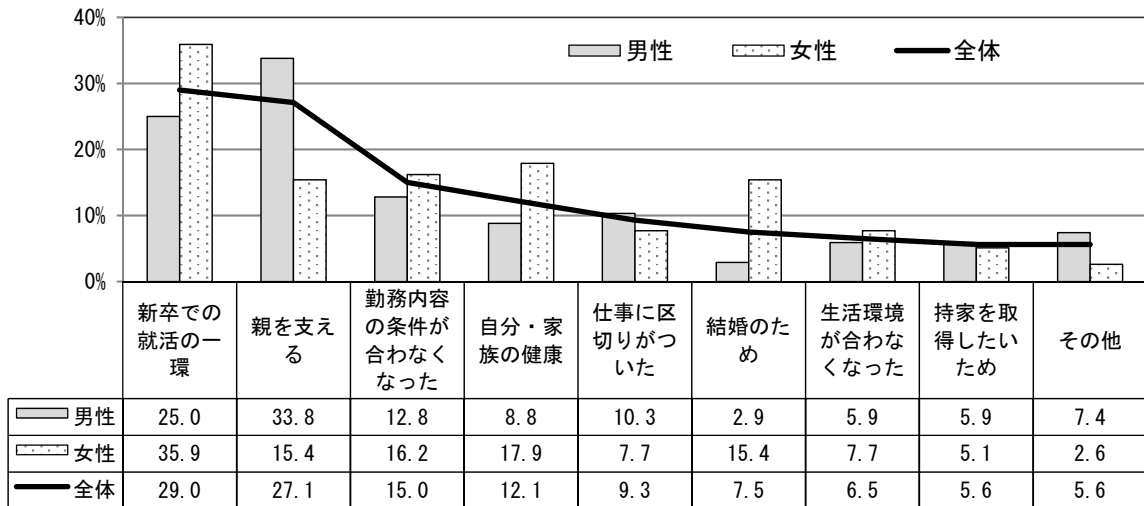
図表30 UIJターン就職実施状況



V 浜松市内企業就職者及びUIJターナー就職経験者の意識・実態調査

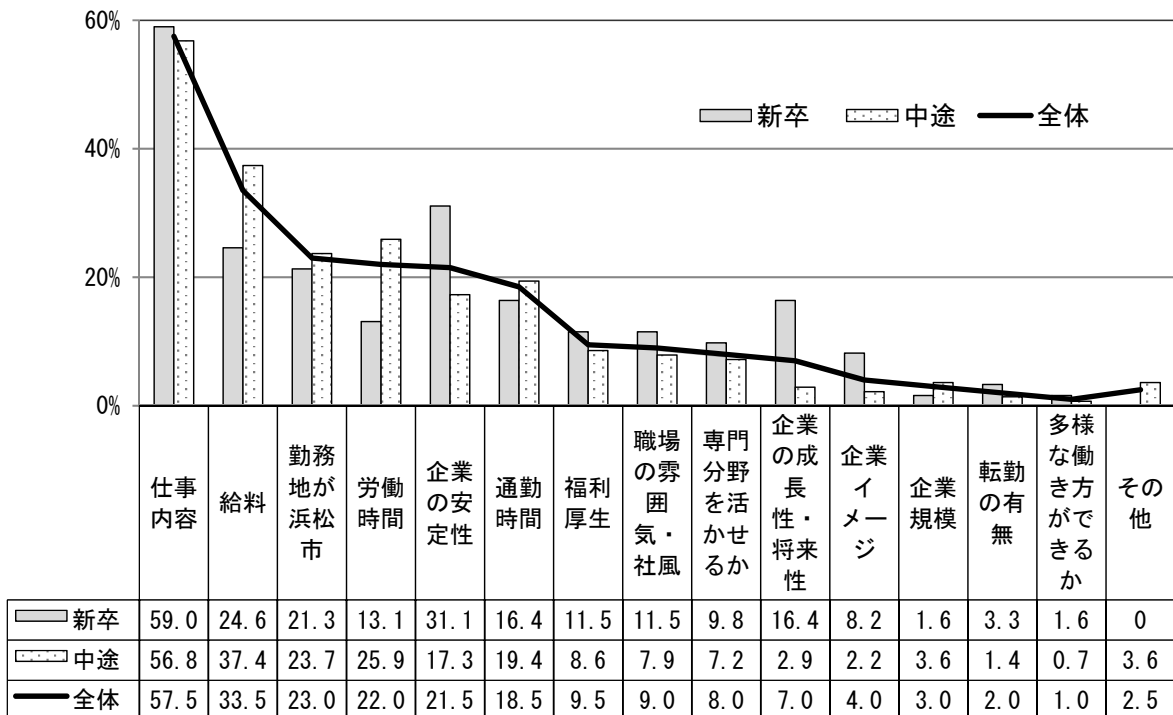
- UIJターナー就職者(107人)がUIJターナー就職を行った理由については、「就職活動の一環として」(29.0%)の割合が最も多く、次いで「親を支えるため」(27.1%)、「勤務時間・給与・通勤等の勤務条件が合わなくなった」(15.0%)と続く。

図表31 UIJターナー就職を行った理由(性別)



- UIJターナー就職者が会社選択に当たって重視することについては、「職種・業種等の仕事内容」(57.5%)を重視する割合が最も高く、次いで「給料」(33.5%)、「勤務地が浜松」(23.0%)と続く。

図表32 企業選びをするにあたって重視すること



VI 浜松市外企業への就職者の意識・実態調査

1. 実態調査概要

(1) 調査目的

本調査は、UIJ ターン就職の促進による若者への転入増加と、地元企業を担う人材及び労働力を確保するための基礎的データを、浜松市外へ就職した者より収集し、今後の事業施策に活用することを目的に実施した。

(2) 調査対象

浜松市出身者で「浜松市外の企業に勤務」している 200 人を抽出。

(3) 調査方法

令和 4 年 12 月 7 日～令和 4 年 12 月 16 日、インターネットリサーチ会社の Web モニターを利用した Web アンケート調査を実施。

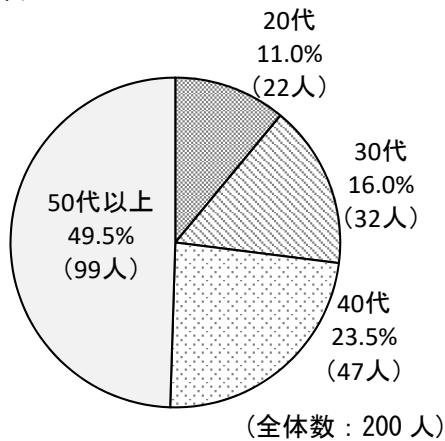
(6) 回収状況

全体 200 人、男性 100 人、女性 100 人。

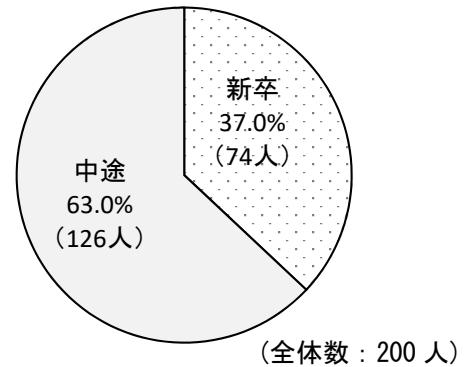
(7) 属性

調査対象者の属性は次の通りである。

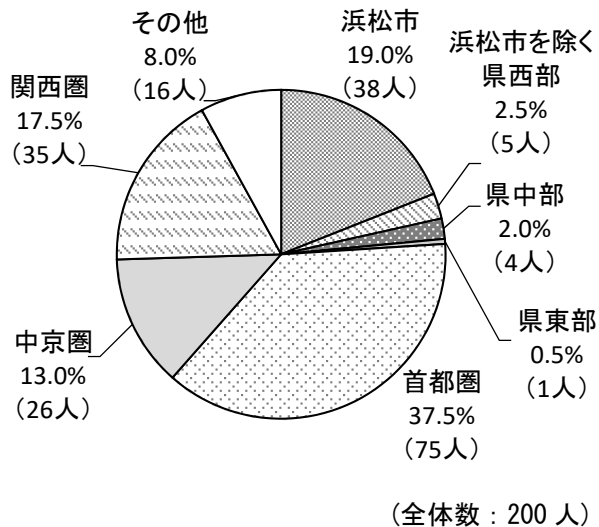
ア. 年代



イ. 採用区分



ウ. 回答者の居住地

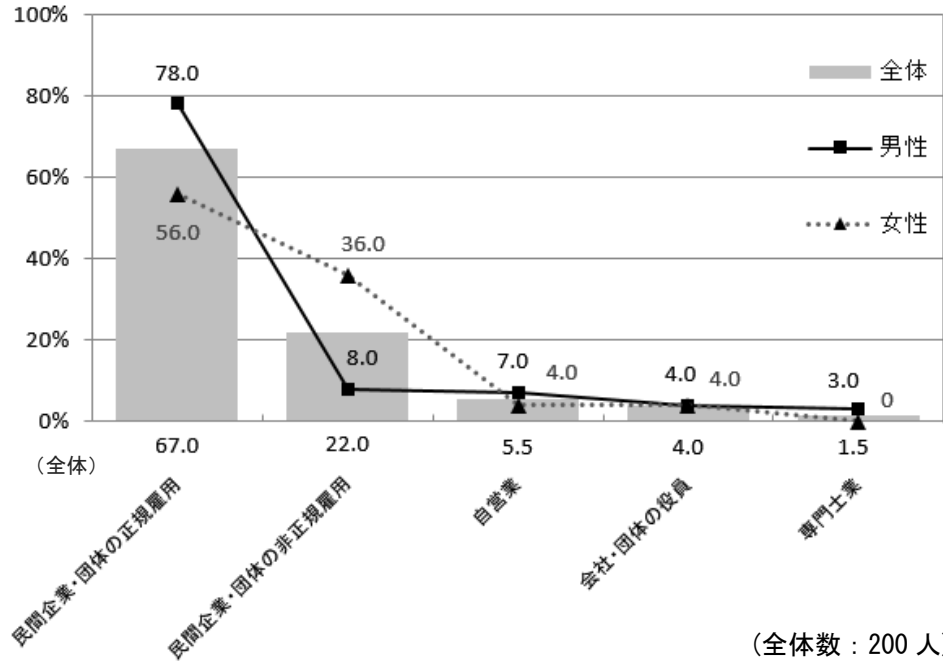


VI 浜松市外企業への就職者の意識・実態調査

2. 実態調査結果

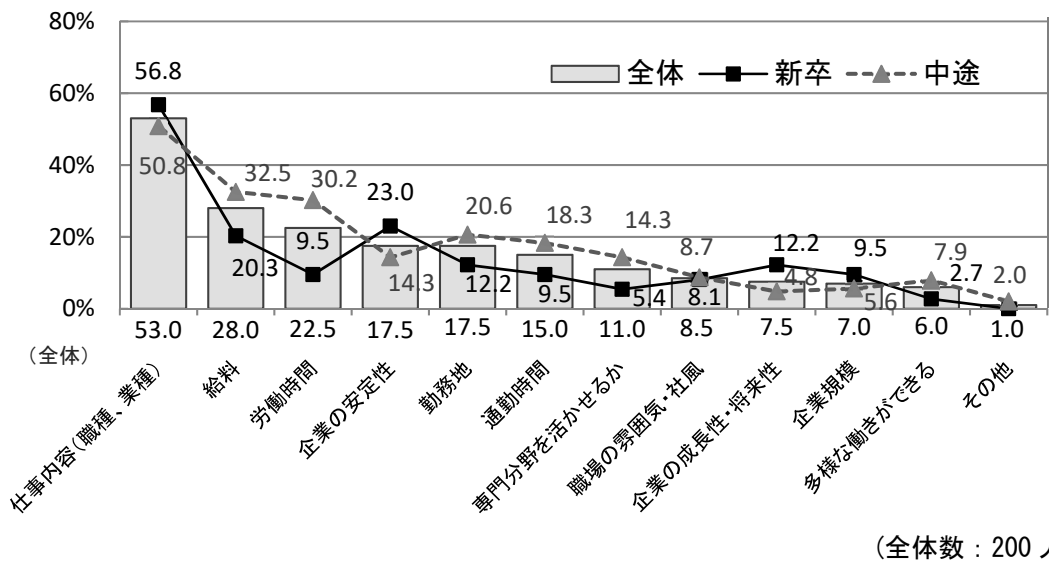
●回答者の現在の就業形態について割合が最も高いのは、「民間企業・団体の正規雇用(社員・職員等)」(67.0%)。性別で見ると男性は「民間企業・団体の正規雇用」(78.0%) 割合が高い。女性は「民間企業・団体の正規雇用」(56.0%) 割合が男性よりは低く、「民間企業・団体の非正規雇用」(36.0%) の割合が男性より高い。

図表 3 3 男女別の就業形態 (全体数 200 人、男性 100 人、女性 100 人)



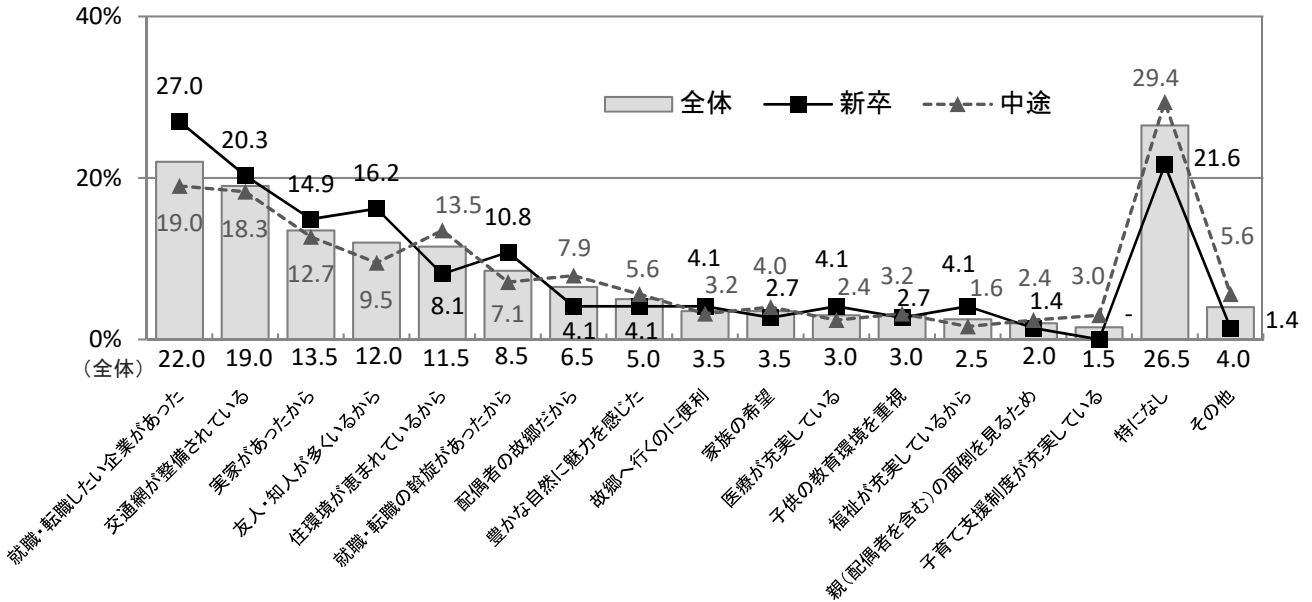
●勤務先を選択する時の重視点について割合が最も高いのは「仕事内容(職種、業種)」(53.0%)である。次いで「給料」(28.0%)、「労働時間」(22.5%)、「企業の安定性」「勤務地」は共に(17.5%)と続く。新卒は「企業の安定性」(23.0%)や「企業の成長性・将来性」(12.2%)を重視する率が中途と比べ高く、中途は「労働時間」(30.2%)が新卒と比べ突出して高くなった。

図表 3 4 現在の勤務先を選択するにあたって重視した点 (3つまで)



- 現在の勤務先地域を選択した理由について割合が最も高いのは「就職・転職したい企業があったから」(22.0%) (特になしを除く)、である。次いで「交通網が整備されている」(19.0%)、「実家があったから」(13.5%) が続く。

図表 3 5 採用区分別の現在の勤務地域を選択した理由 (複数回答)



(全体数 : 200 人)

- 浜松市内企業への就職・転職活動は 19.0%が経験している。

図表 3 6 浜松市内企業への就職・転職活動の有無

		□ 活動した	□ 活動していない				
		0%	20%	40%	60%	80%	100%
性別	全体 (200)	19.0	81.0				
	男性 (100)	23.0	77.0				
	女性 (100)	15.0	85.0				
就職時の採用区分	新卒 (67)	24.3	75.7				
	中途 (133)	15.9	84.1				

(全体数 : 200 人)

Ⅶ 浜松市内企業実態調査

1. 実態調査概要

(1) 調査目的

本調査は UIJ ターン就職の促進による若者の転入増加と地元企業を担う人材及び労働力を確保するため、市内の企業から基礎データを収集し、今後の事業施策に活用することを目的に実施した。

(2) 調査対象

東京商工リサーチの企業データ（本社・本店、支社・支店を問わず）を利用し、従業員規模5人以上の企業を抽出した。

(3) 調査方法

令和4年7月～令和4年8月、郵送による配布、郵送・WEB回答による回収により、令和4年8月31日時点の状況について調査を実施。

(4) 回収状況

郵送企業数 5,000 社、回収企業数 1,797 社で、回収率は 35.9%となった。

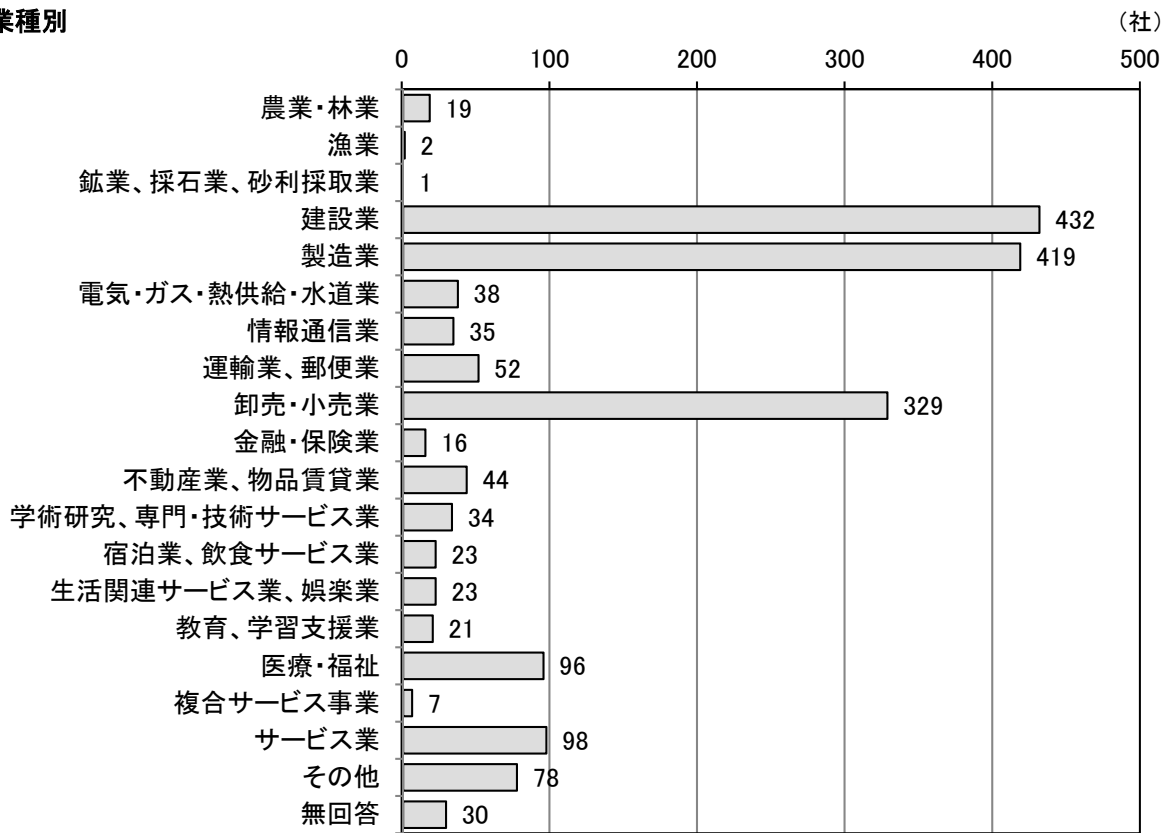
業 種	調査対象 (郵送) 企業数	回収 企業数	回収数に 対する 業種構成比 (%)	調査対象 企業数に 対する 回収率 (%)
農業・林業	25	19	1.1	76.0
漁業	5	2	0.1	40.0
鉱業、採石業、砂利採取業	3	1	0.1	33.3
建設業	1,303	432	24.0	33.2
製造業	1,191	419	23.3	35.2
電気・ガス・熱供給・水道業	20	38	2.1	-
情報通信業	119	35	1.9	29.4
運輸業、郵便業	191	52	2.9	27.2
卸売・小売業	1,076	329	18.3	30.6
金融・保険業	35	16	0.9	45.7
不動産業、物品賃貸業	157	44	2.4	28.0
学術研究、専門・技術サービス業	155	34	1.9	21.9
宿泊業、飲食サービス業	75	23	1.3	30.7
生活関連サービス業、娯楽業	88	23	1.3	26.1
教育、学習支援業	41	21	1.2	51.2
医療・福祉	213	96	5.3	45.1
複合サービス事業	51	7	0.4	13.7
サービス業(複合サービス業に分類されないもの)	252	98	5.5	38.9
その他	0	78	4.3	-
無回答	0	30	1.7	-
合 計	5,000	1,797	100.0	35.9

追記：調査対象として把握していた業種と企業回答業種が異なることがあるため、回収企業数が調査対象企業数を上回っている場合がある。

(5) 属性

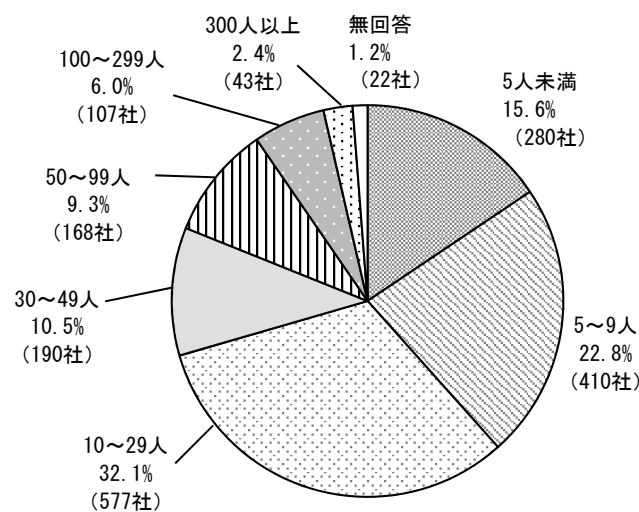
調査回収企業の属性は次の通りである。

ア. 業種別



(全体数 : 1,797 社)

イ. 従業員規模別



(全体数 : 1,797 社)

Ⅶ 浜松市内企業実態調査

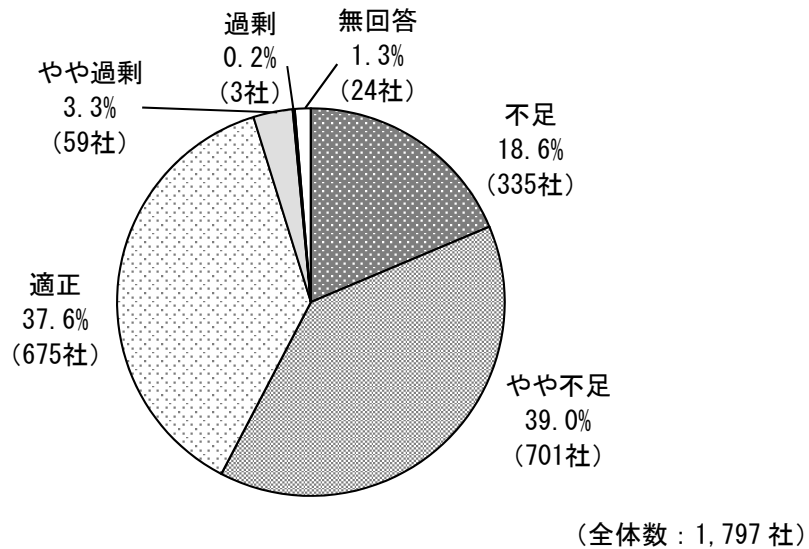
2. 実態調査結果

(1) 労働力の過不足感

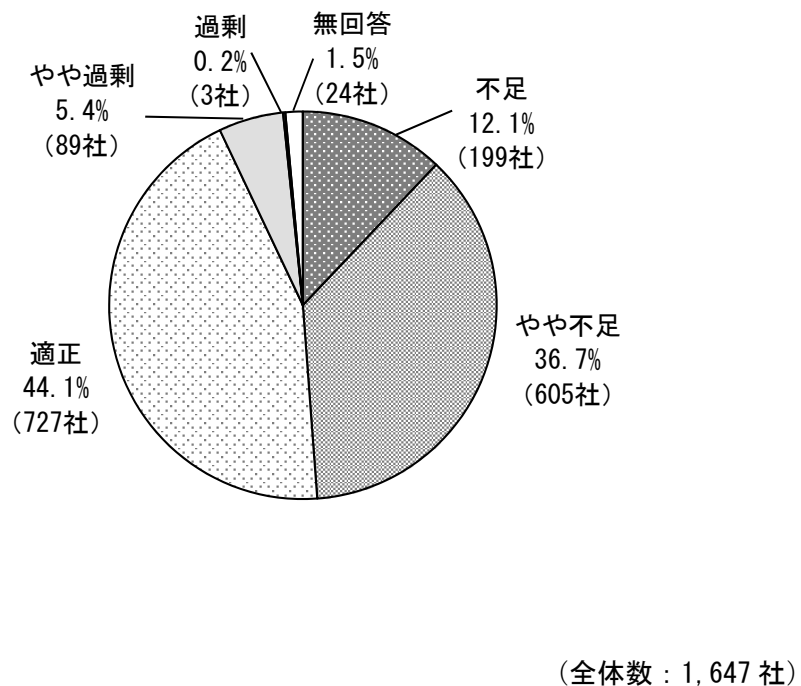
- 回答のあった企業の労働力の過不足感については、「適正」が（37.6%）に対し、「不足」（18.6%）、「やや不足」（39.0%）を合わせて、全体の 57.6%（1,036 社）の企業が自社の労働力に対し不足感を持っている。なお、平成 27 年度の調査と比較すると、「適正」と回答した企業の割合が 44.1%から 6.5%減少した。また、「不足」、「やや不足」の合計が 48.8%から 8.8%増加し、人手不足を感じている企業の割合が増加している。

図表 3 7 浜松市企業の労働力の過不足感

令和 4 年度調査



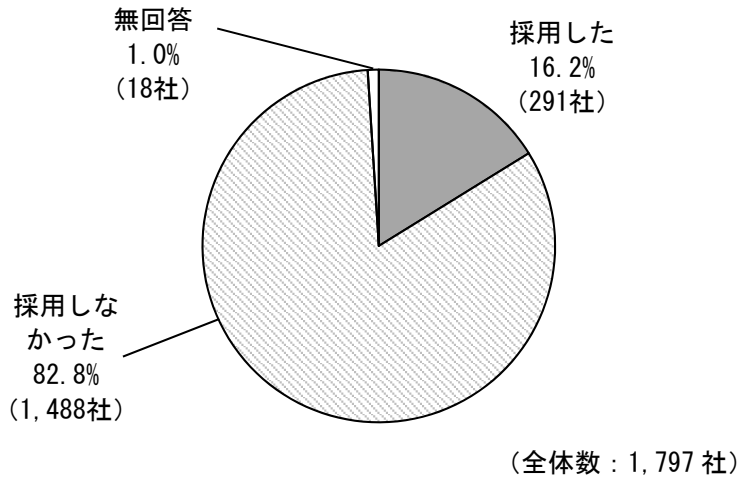
平成 27 年度調査



(2) 新卒採用について

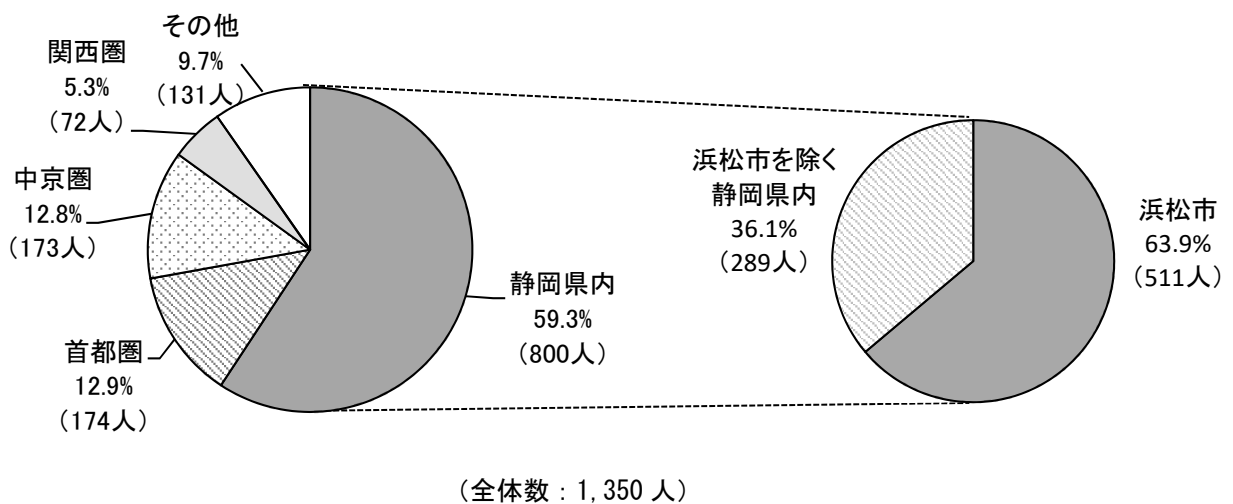
●令和4年4月入社の新卒者を採用した浜松市内企業は291社(1,350人)で回答のあった企業の16.2%である。

図表38 新卒者採用の有無



●浜松市内の企業が令和4年4月に採用した新卒者(1,350人)の出身校所在地域について、割合が最も高いのは、「静岡県内」(59.3%)である。次いで、「首都圏」(12.9%)、「中京圏」(12.8%)がほぼ同じ割合となっている。

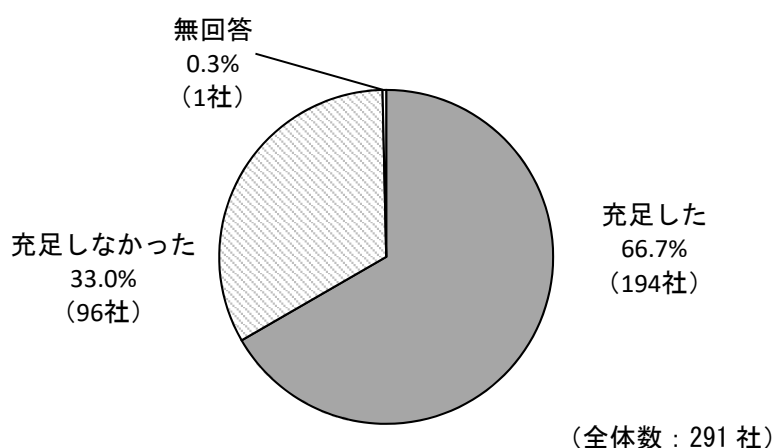
図表39 新卒者採用者の出身校所在地域



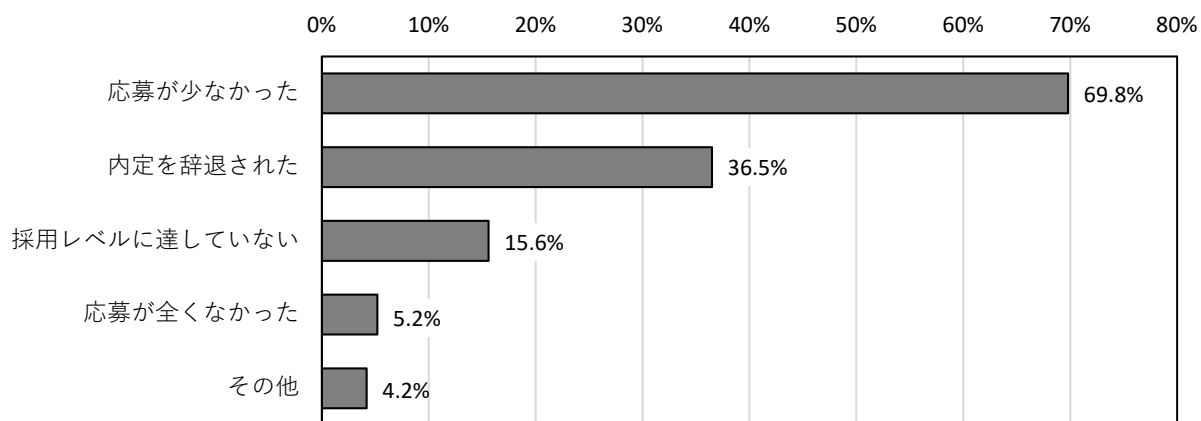
Ⅶ 浜松市内企業実態調査

- 令和4年4月入社の新卒者の採用活動を行った企業のうち、新卒者の充足度は「充足した」(66.7%)、「充足しなかった」(33.0%)である。
- 新卒者が「充足しなかった」企業の理由について割合が最も高かったのは、「応募者が少なかった」(69.8%)である。次いで「内定を出したが、辞退された」(36.5%)、「採用レベルに達するものが少なかった」(15.6%)と続く。

図表 4 0 新卒者採用活動を行った企業の状況



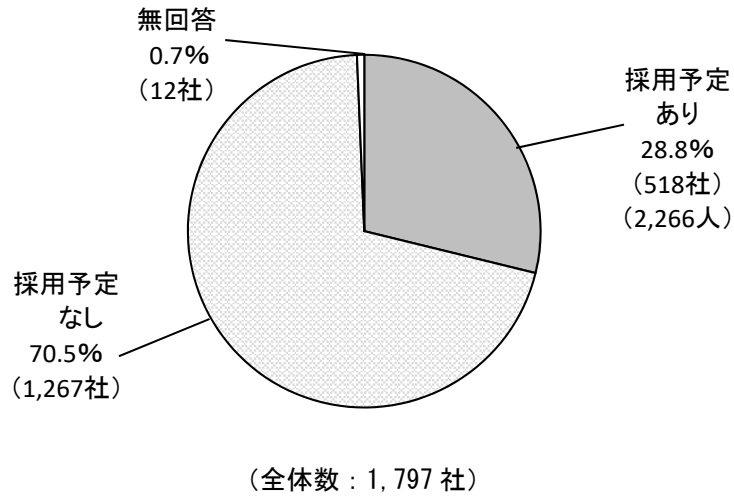
図表 4 1 新卒者が充足しなかった理由



(R4 全体数 : 96 社)

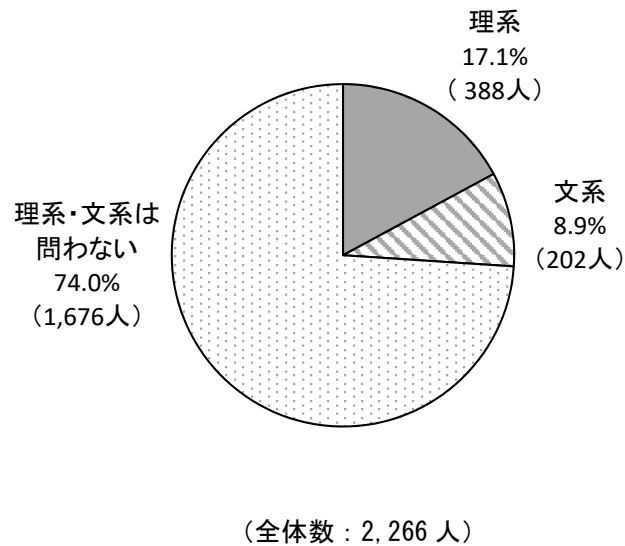
●令和5年4月の新卒者採用予定は「採用予定あり」(28.8%)、「採用予定なし」(70.5%)となっている。
新卒採用予定人数は2,266人となる。

図表4-2 新卒者の採用予定の有無



●理系・文系別の採用予定人数では「理系・文系は問わない」(74.0%)が最も多く、理系・文系にはこだわらない企業が多い。

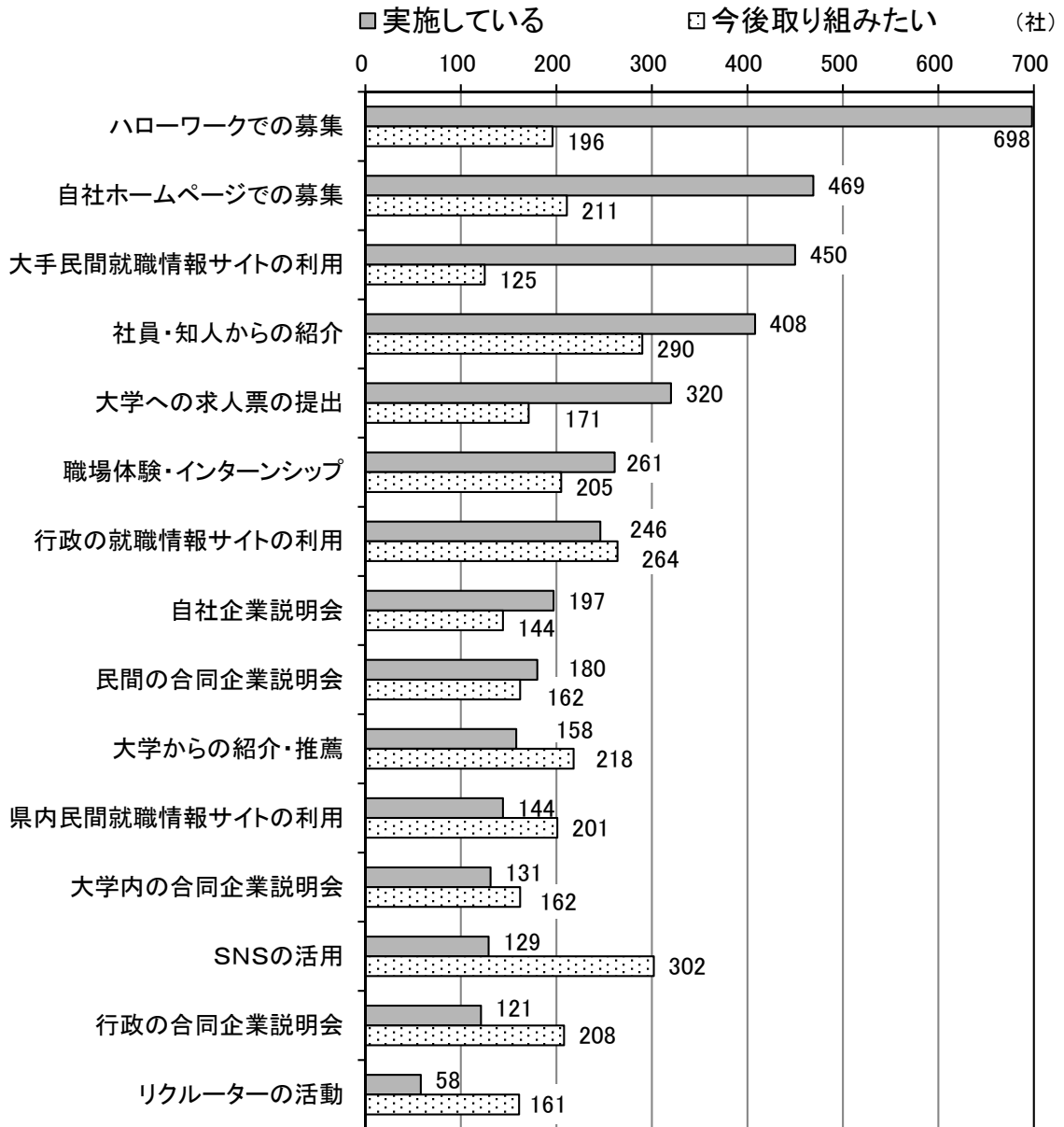
図表4-3 理系・文系別新卒者採用予定



Ⅶ 浜松市内企業実態調査

●新卒者の採用活動として、実施していることが多いのは「ハローワークでの募集」が最多。次いで「自社ホームページでの募集」、「大手民間就職情報サイトの利用」となっている。「今後取り組みたいこと」は、「SNSの活用」が最多、「社員・知人からの紹介」、「行政の就職情報サイト」、「大学からの紹介・推薦」と続いている。

図表 4 4 今までの採用活動と今後の採用活動（複数回答）

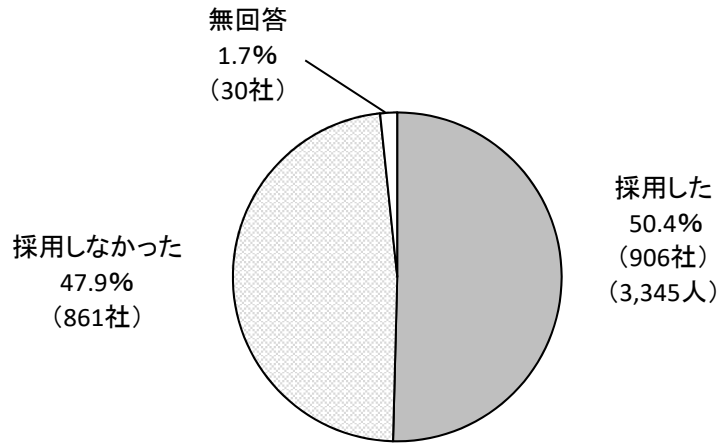


(全体数 : 1,979 社)

(3) 中途採用について

●令和3年度に中途採用を行った浜松市内の企業は50.4%と約半数の企業で採用実績があり、採用人数は3,345人であった。

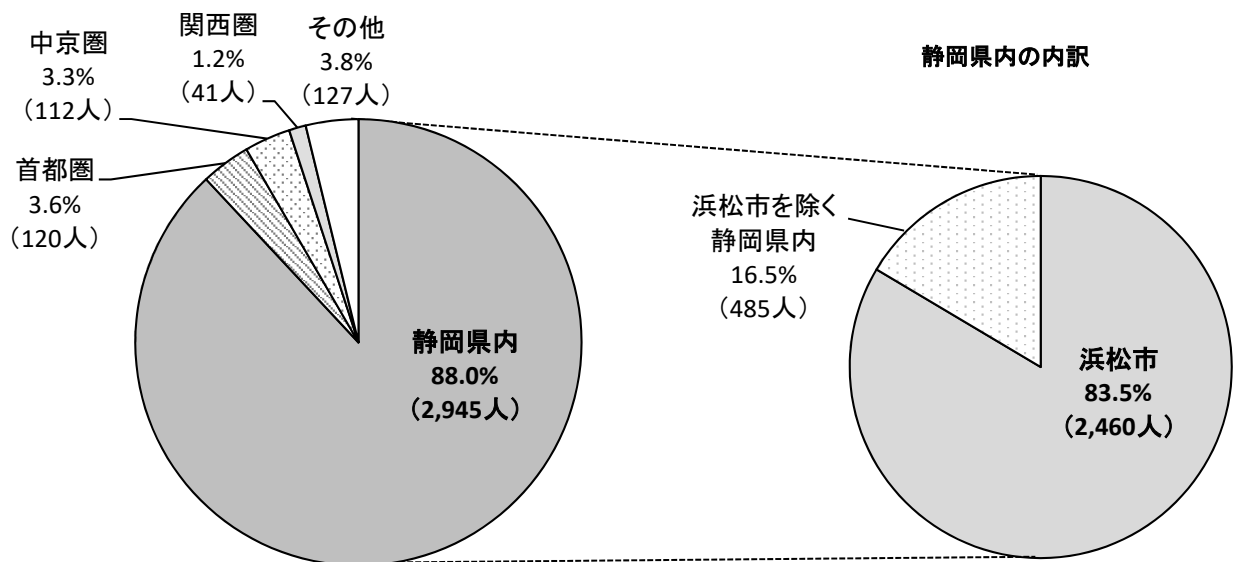
図表4-5 中途採用の有無



(全体数 : 1,797 社)

●中途採用者の採用直前の居住地は、「静岡県内」が88.0%である。そのうち「浜松市」は83.5%である。

図表4-6 中途採用者の採用前居住地

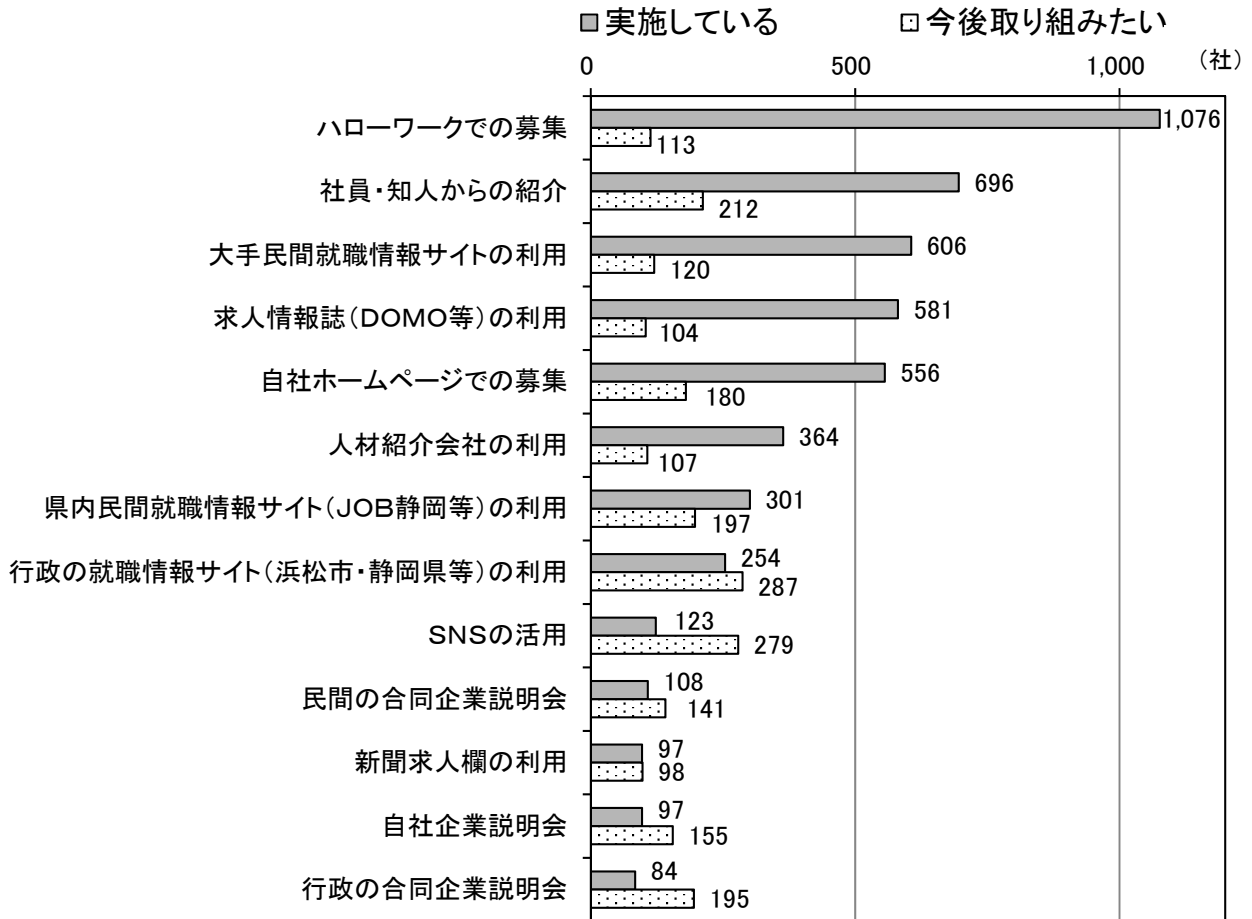


(全体数 : 3,345 人)

Ⅶ 浜松市内企業実態調査

●中途採用活動の取組では、「ハローワークでの募集」が最も多く、次いで「社員・知人からの紹介」、「大手民間就職情報サイトの利用」の順となっている。

図表 4 7 中途採用活動実施状況と今後の取り組み（複数回答）

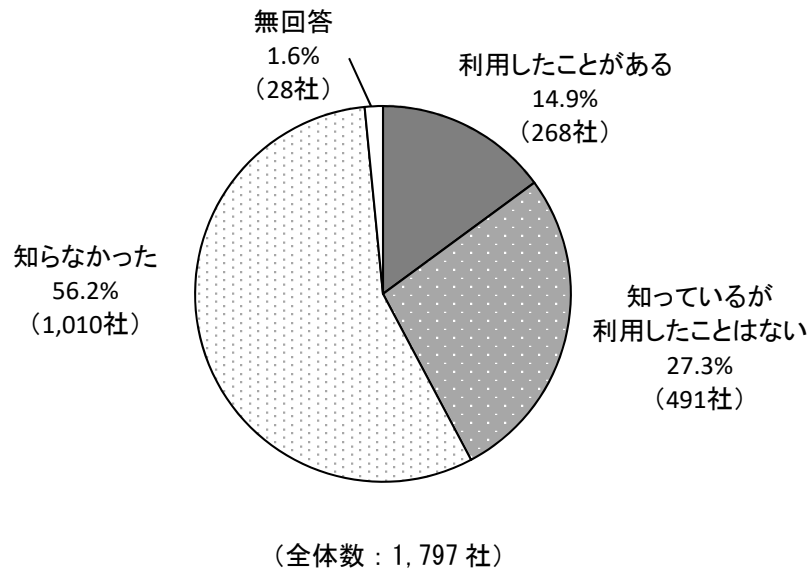


(全体数 1,797 社)

(4) 「浜松就職・転職ナビJOBはま！」について

●「浜松就職・転職ナビJOBはま！」について、「利用したことがある」は14.9%、「知っているが利用したことはない」が27.3%となり、認知度は42.2%であった。

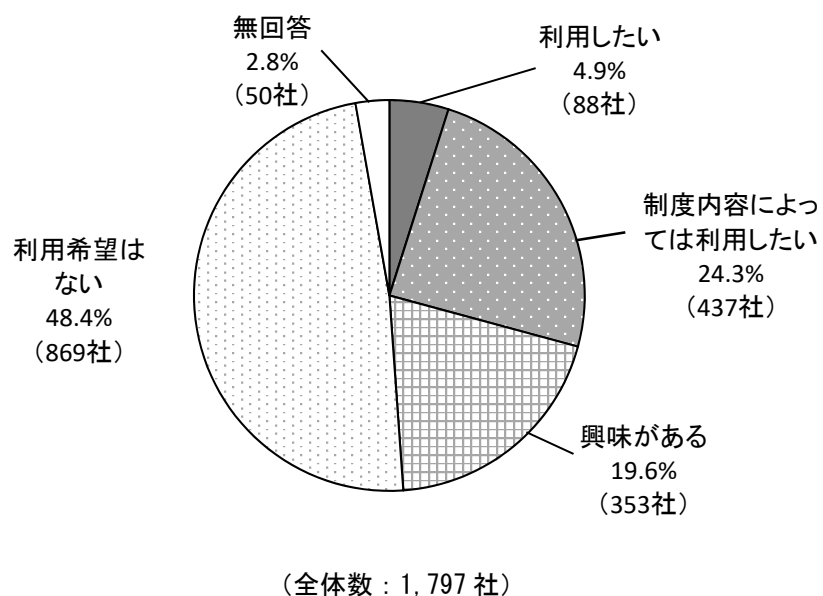
図表 4 8 「浜松就職・転職ナビJOBはま！」の認知度



(5) 「浜松市奨学金返還支援事業」の利用希望について

●「浜松市奨学金返還支援事業」について、「利用したい」、「制度内容によっては利用したい」、「興味がある」と前向きな回答の合計は48.8%となっている。

図表 4 9 「浜松市奨学金返還支援事業」の利用希望

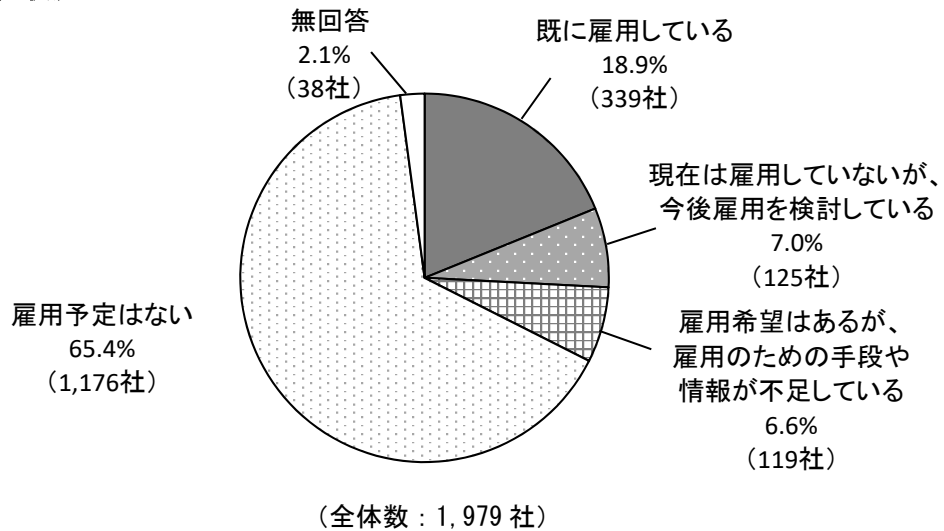


Ⅶ 浜松市内企業実態調査

(6) 外国人材の雇用状況

●外国人材の雇用状況について、「既に雇用している」は18.9%で、「今後雇用を検討している」(7.0%)、「雇用希望はあるが、雇用のための手段や情報が不足している」(6.6%)までを含めると、外国人雇用に向きな企業の割合は32.5%となった。

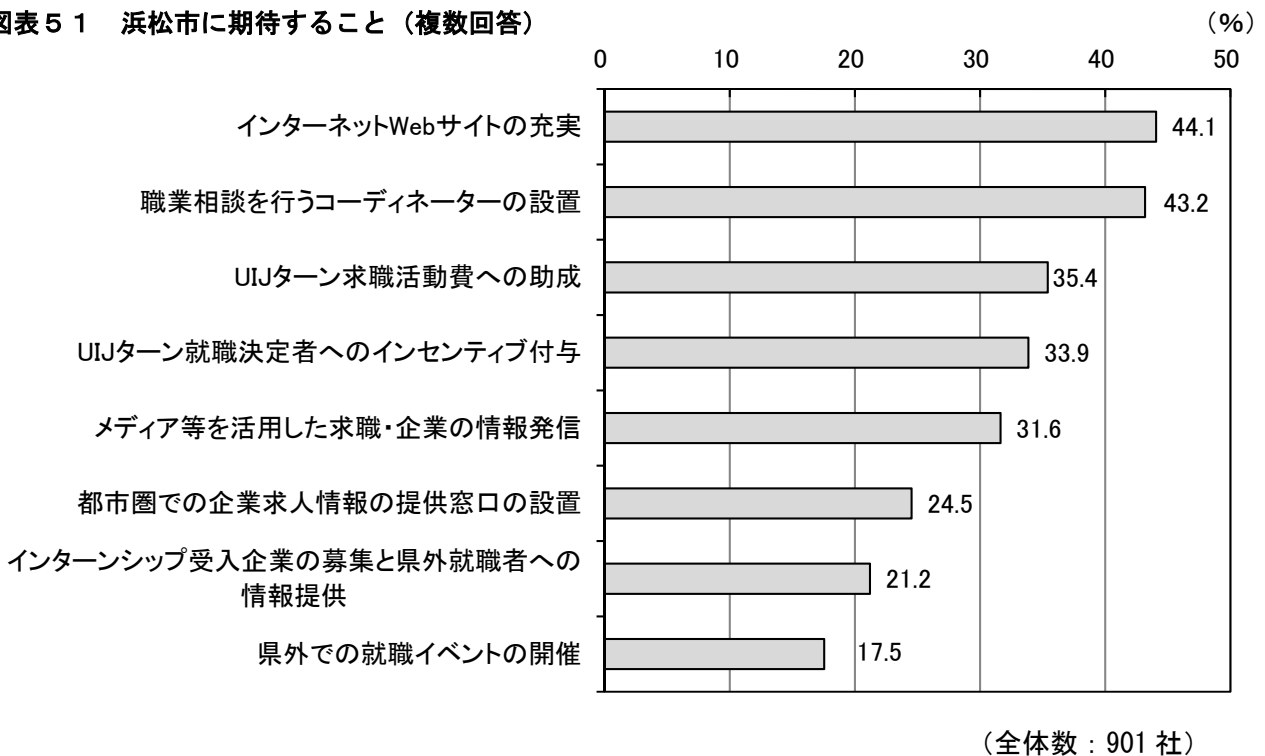
図表50 外国人の雇用状況



(7) 浜松市に期待すること

●今後の採用活動を行ううえで、「浜松市に期待すること」について、901社から2,265件の回答があった。「インターネットWebサイトの充実」(44.1%)、「職業相談を行うコーディネーターの設置」(43.2%)、「UIJターン求職活動費への助成」(35.4%)の順となる。

図表51 浜松市に期待すること (複数回答)





浜松市

令和4年度 UIJ ターン就職促進に係る企業、高校、大学等実態調査業務報告書（概要版）

発行 浜松市 産業部 産業振興課

〒430-8652 浜松市中区元城町 103-2

TEL : 053-457-2115 FAX : 050-3730-8899

Mail : rose@city.hamamatsu.shizuoka.jp
